

FREE

特別企画・座談会

グローバルに活躍する 輝く女性たち



NICHIGO PRESS

オーストラリアの日本語総合誌 日豪プレス Since 1977
nichigopress.jp Vol.47 No.539

MAR & APR 2024

【対談】寺澤ジョー・敬子さん (Googleアジア太平洋地域インクルージョン戦略責任者)
メルボルンのカフェで気になるスイーツを発見!



We're excited to bring you our new MAKOTO Range!

The Kikkoman Makoto Range is gluten free, and will really bring that authentic flavour to your choice of ingredients and dishes.



Available Now!

kikkoman®



オーストラリアに暮らす日本人必携の

医療保険

豪州一時滞在者専用 メディパック

メディパックの特徴は…

- 日本人にとって頻度が高い歯科治療、メガネ関連のカバーが充実
- ご予算とニーズに合わせて複数のプランをご用意
- 他のオーストラリア民間医療保険からの切り替え特典あり

Aon Risk Services Australia Limited

お問い合わせは 関口、斉藤 まで

TEL: (02) 9253-7075

(日本語直通)

E-mail: au.jis@aon.com

www.aon.com.au



ORION STAR PROPERTY

豪州政府公認不動産会社
居住物件購入・不動産投資・運用の無料コンサルティング
売却・レント管理サービス提供

YouTube

知らないと損!

豪州不動産無料講座開講中

@orionstarproperty_japan

Scan it



363回 オリオンスタープロパティ不動産セミナー

知っておくべき オーストラリア不動産の特徴

2024年不動産市場、住宅ローン、購入手続き、物件選定ノウハウ、スーパーアニメーションを利用した物件購入を分かりやすく説明!

日程 3月16日(土) 13:00 / 3月20日(水) 18:00
4月20日(土) 13:00 / 4月23日(火) 18:00

会場 Suite502, 10 Help St Chatswood
オリオン・スター・プロパティセミナールーム (Chatswood駅から徒歩2分・駐車場あり)

セミナーの申し込みはQRコードから ▶

または、氏名、メールアドレス、参加希望日を明記の上、SMSにてご連絡ください

0468 830 980 (担当: 沖野)



経歴16年以上の
不動産専門家に
なんでも日本語で
相談できますよ!

オリオンスタープロパティ代表
ジャズミン・キム

A: Suite 502 10 Help st, Chatswood NSW T: 02 8094 9288 / 0423 541 023 H: www.orionstarproperty.com

東京での不動産物件は、 叶屋不動産へ!!



- 土地・マンションの売買
- 不動産物件の管理
- 不動産相続のコンサルタント



かのや
叶屋不動産株式会社

代表: 板屋雅博 携帯: 81-80-4419-1510

所在地: 東京都千代田区神田神保町1-38 森ビル

電話: 81-3-3518-9545 Fax: 81-3-3518-9546

Email: info@kano-ya.biz Web: kano-ya.biz

オーストラリアの最新ニュース、イベント情報を
Facebookでフォローしよう!

www.facebook.com/NICHIGOPRESS

Facebook内「NICHIGOPRESS」で検索!



日豪プレスのFacebookであなたの事業を紹介してみませんか?

幅広い層の方々へ効果的なアピールが期待できます。フォロワー数1万3000人以上!

広告掲載のお問い合わせは、npsales@nichigo.com.auまで

- 4 【特集】グローバルに活躍する輝く女性たち
- 11 コミュニティ・ニュース
- 14 【第25回】最先端ビジネス対談
Googleアジア太平洋地域インクルージョン戦略責任者
寺澤ジョー・敬子さん
- 18 世界で活躍する日本人ビジネスマン
- 24 KINOKUNIYA「最新BOOKSトレンド・チェック」
- 25 オーストラリア不動産の現状
- 26 日豪プレス法律相談室
- 27 豪州ビザ最新事情
- 28 日本語学校「みんなの将来の夢、聞かせて下さい!」
- 29 帰ってきたBBKコラム子育てパパ奮闘編
- 30 駐在さん、こんにちは! / 福島先生の教育指導
- 31 おいしいもの食べ隊
メルボルンのカフェで気になるスイーツを発見!
- 32 花のある生活
- 33 きもの日和

- 今月の表紙 -



今月は、3月8日の「International Women's day」にちなんで「グローバルに活躍する輝く女性たち」を特集。表紙には、シドニーを拠点に活躍する會澤貴美代さん（WomenCanFly.Co代表、NSW州豪日協会理事）、フォーササイズ伊織さん（豪日経済委員会、YouTuber）、佐々木絵梨さん（Canva）による座談会を開催した際に撮影した1枚を採用。キャリアも経験も異なる3人に語って頂いた内容は、グローバルな飛躍を目指す人、必見だ。

Cover Photo=Satoko Clarke

NICHIGO PRESS オンライン版、好評配信中!

「NICHIGO PRESS ONLINE」では、日々変わりゆくオーストラリアの「今」を配信している。オンライン・プラットフォームの特性を生かしたウェブ限定特集や連載コラムが続々スタート。オーストラリアのニュースや生活情報など最新情報に加え、求人・住まい・マーケットのクラシファイドでは、ユーザー同士が交流できる場を提供している。ぜひアクセスしてご覧頂ければ幸いです。プリント版では、これまで以上に「取っておきたい」「何度でも読み返したくなる」深みのあるコンテンツづくりに注力していく所存。お楽しみに。

Check it out!



nichigopress.jp



NICHIGO PRESS ONLINEで掲載中のトピックス

【特集/インタビュー】

<https://nichigopress.jp/topics/feature-interview>

求人や習い事、ビザなど生活情報の特集や、各分野で活躍する著名人・スペシャリストへのインタビュー、座談会などその内容は多岐にわたる。

【コミュニティ】

<https://nichigopress.jp/topics/community>

オーストラリア各地で行われるイベントや、スポーツなど大会で活躍する日本人に関するニュースなどをお届け。

【オーストラリアでの暮らし】

<https://nichigopress.jp/topics/living-in-australia>

オーストラリア在住の著者が、お勧めスポットやライフスタイルなど、バラエティーに富んだ内容でコラムやエッセイを連載中。

【コラム】

<https://nichigopress.jp/topics/column>

書家や写真家などアーティストの作品掲載から、パレエ・ダンサーの日常や、教育の専門家、社長・役員秘書の裏側までさまざまなコラムをお届け。

【クラシファイド】

<https://nichigopress.jp/classified/work>

ユーザー同士が交流できる場を提供。無料で利用可能な求人・物件情報に加え、物の売り買い、サークル募集など生活に欠かせない情報が毎日多数掲載されている。





オーストラリアには チャンスがあふれている！ 輝く女性 座談会



オーストラリアでは、数多くの女性が日本とは異なる文化、環境の中、仕事を見つけ活躍している。そこで今回は、シドニーを拠点に活躍する女性に集ってもらい、オーストラリアでの生活やキャリア、仕事とプライベートの両立の仕方などについて語って頂いた。キャリアも経験も異なる3人の女性のライフ・スタイルはどのようなものなのか——。さまざまな分野でグローバルな飛躍を目指す人にぜひ読んで頂きたい。

(撮影：クラークさと子、監修：石井ゆり子)

——現在シドニーを拠点に活躍する3人の女性たちにお集まり頂きました。まずは来豪までの経緯など、自己紹介をお願いします。

會澤：日本では、産業活性化の公益財団法人で観光プロモーションのインバウンドの仕事をしていました。海外の方々を迎えるにあたっての業務に携わっていたのですが、業務を遂行する中で実際の外国人のニーズを知りたいと考えるようになり来豪しました。

佐々木：小さいころから中国やシンガポールに滞在、大学進学時には日本を拠点にイギリス留

学をするなど海外での生活に慣れ親しんでいました。そんな中、日本の大学に入った際に「何か違うな」と感じ、日本で働き続ける自分の姿が想像できないことに気付きました。周りの友人知人が就職活動をし、さまざまな企業や団体で内定を獲得していく中、私はオーストラリアの大学院に進学して仕事を見つけ、永住するという目標を立てました。最初は、QLD州の大学で観光について学ぼうと考えていたのですが「ビジネスを幅広く学んだ方が、後々仕事を見つける際に選択肢が増えるのでは？」という親のアドバイスがあり「確かに！」と思い、総合的に考えシドニー

だと雇用も多いし、大学としてのレベルも申し分なかったので、シドニー大学のビジネス・スクールへの留学を決めました。マスター・オブ・コマースという2年間の修士課程を終えた後、卒業ビザをもらえたので、そのまま現地で就職しました。転職が盛んな国ということもあり4社目となりますが、今はCanvaでプロダクト・マネージャーをしています。

フォーサイス：いろいろなことをしているので、肩書というと難しいのですが、“日豪スペシャリスト”として活動させて頂いています。幼いころから父の母国であるオーストラリアと日本を行き

来し、日豪の架け橋になるという夢を持っていました。日本とオーストラリアの両国でバランス良く仕事や勉強をしたいという気持ちがあり、2021年にシドニーに引っ越してきました。私の父がQLD州出身なので、日本からオーストラリアの学校に留学した時や進学した大学はQLD州だったのですが、今後のキャリアを考えていく中で、最もオポチュニティーがあるのはシドニーではないかと考えたのがきっかけです。仕事にも恵まれ、7カ月前に長男が生まれて産休を頂いていた間に勤め先が変わりました。産休前までは、オーストラリア貿易投資促進庁で海外からの留学生の促進に関わる仕事をしていたのですが、現在は、豪日経済委員会でもより一層日豪の関係に携わる業務に取り組んでいます。また、副業で家族と共に日本向けにオーストラリアの魅力を発信するYouTubeチャンネルを運営しています。私は大家族で弟が7人いるのですが、コロナ禍をきっかけに、日豪の架け橋になるようなYouTubeチャンネルを開きたいという話になりスタートし、この3年間で観光局やさまざまな日本やオーストラリアの会社とコラボレーションさせて頂き、日本にオーストラリアの魅力を発信する活動も行っています。

オポチュニティーの多さがシドニーの魅力

會澤：お二人はQLD州という選択肢もある中、シドニーに来られたのですが、実際に来てみて、オーストラリアの中でも特にシドニーはオポチュニティーが多いと感じたことはありますか。

フォーサイス：私は広島県出身で高校卒業まではいわゆる地方暮らしでした。オーストラリアを訪れる時は、ブリスベンやゴールド・コーストなど都会があるQLD州の中でも少し田舎のサンシャイン・コーストを拠点に育ちました。大学卒業後に上京し、新卒で会社に入り、都会でのオポチュニティーや仕事の魅力を感じ、結局東京で8年ほど働いてからオーストラリアに移ろうと決心しました。その際、QLD州に戻るという選択肢もありましたが、オーストラリアの中でも1番ビジネスのオポチュニティーがあり、東京に似ているという面でも、やはり都会に引っ越したいと思いました。メルボルンという選択肢もありましたが、弟が何人か先にシドニーに引っ越していたので、家族がいる場所ということもあり、最終的にシドニーに決めました。後悔はないです。シドニーに来て本当に良かったと心から思っています。

佐々木：私はオーストラリアの別の都市に住んだ経験がないので、なかなか比べるのが難しいのですが、シドニーに引っ越して大学院が終わりそうな時に、少しシドニーに飽きてきた時期があり、他の都市でも仕事が見つかるのか気になり、リンクドイン (LinkedIn) で調べたのですが非常に少なく……。当時はコロナ禍以前でリモート・ワークが普及していなかったですし、メルボルンでの仕事は少ないと思いました。その時にシド

ニーのオポチュニティーの多さを身にしみて感じたので、悔いなくそのままシドニーに住み続けました。オーストラリア発の会社で働きたいとなると、やはりシドニーに本社がある場合が多いと思います。Canvaもそうですが、他の大きなテック企業で言うとAtlassianもシドニーに本社があるので、そういう方面で経験を積んでステップ・アップしていきたい人にとっては間違いなくシドニーが良い場所なのではないかと感じますね。

ワーク・ライフ・バランスが取りやすい国

フォーサイス：日本とオーストラリアに住んでみて、オーストラリアは、すごくワーク・ライフ・バランスが取りやすい国だと思います。会社の理解もそうですが、子どもを持つ人、家庭と両立したい人、バリバリ働きたい人など、どんな働き方も受け入れられ、それぞれのライフ・スタイルに合わせてバランスを取れるというのが1番の気付きです。特に日本と比べて切実に感じました。

會澤：同感です。オーストラリアは多国籍国家で、多様な生き方をしている人が集まっているので「働き方としてはこれが良い」とか「生き方としてはこれが良い」など、良い意味でモデル像みたいなものはありません。どの選択肢を選ぶのか個人の判断に委ねられているので、たくさん働きたいという人は都会に住み思い切り働いて、海を見ながらのんびり暮らしたいという人は郊外に住みながら、という働き方もできます。自分の理想の生き方を自分で選びやすい点がオーストラリアと日本の1番の違いかなと思います。どちらが良いということではなく、日本では1つの会社に長く勤め30代で結婚や昇給、35歳を過ぎると中間層になり部下が増えていくなどイメージが付きやすいのですが、オーストラリアでは、キャリア・チェンジも含め、3、4社転職したり、逆に1社に長く勤める人もいたり、本当にさまざまなので、「今のあなたのキャリアはどんな感じ?」というように、本人から話を聞かないと、年齢や国籍からキャリアを想像することはできません。キャリアに重きを置くなら、チャンスがあるのはシドニーだと思います。学生や起業家、企業に勤める社会人向けにさまざまなプログラムやセミナーが常時どこかで行われているので、仕事の知識やコネクションが欲しいと思った際、自らそういった所に飛び込みコミュニティに参加することで、チャンスが広がると言えます。

フォーサイス：自ら探しに行かないといけないというチャレンジングな部分はありますね。日本のように新卒採用の人のルールなどがあるわけではなく、本当に自分から積極的に探し出さないといけないという点では、もしかしたら日本人は慣れていないかもしれません。でも、モチベーションがある人にとっては、本当にいろいろな機会が転がっていると思います。

會澤：待っていても来ないから、転がっているチャンスを見つけておく必要がありますね。多分、私た



フォーサイス伊織 (Iori Forsyth)

2013年QLD州の大学を卒業し、QLD州政府駐日事務所勤務として8年勤務。21年にシドニーに拠点を移し、オーストラリア貿易投資促進庁 (Austrade) で教育分野を担当し、日豪関係のスペシャリストとして活動。現在は豪日経済委員会 (AJBCC) に勤務。家族と共にYouTubeチャンネル「大家族フォーサイス家」を運営している



會澤貴美代 (Kimiyo Aizawa)

公益財団法人都市活力研究所で観光PRのインバウンド関連の仕事に従事し、2018年に来豪。日系ウェブメディア、IT企業に勤務する傍らビジネス・スクールに通い19年11月、女性・留学キャリア支援プラットフォーム「WomenCanFly.Co」を設立。主にオーストラリアへの留学サポート全般、企業PR事業を行っている。NSW州豪日協会 (AJS-NSW) 理事



佐々木絵梨 (Eri Sasaki)

日本で大学を卒業し、シドニー大学の大学院に進学。卒業後、オーストラリアの広告会社やソフトウェア会社に勤務。その後「Amazon Alexa」でデバイスのプログラム・マネージャーを担当。現在は、オンラインで使用できるオーストラリア発のグラフィック・デザインツール「Canva」でプロダクト・マネージャーを務め、翻訳ツールの開発などに携わる



ち3人は良い意味で「チャンスはどこにある？」という感じで勢いよく行動している方ですね。

LinkedInは絶対に活用すべき

フォーサイス：私は昔からたくさんの目標があり、その目標に向かっていく際、ロール・モデルとなる人を参考にしてきました。その人たちがどのようなキャリアを築いてきたかを見るようにしています。その際、ツールとしてよく使用するのがLinkedInです。特にオーストラリアの企業で働

き、キャリアを築きたいという気持ちがあるのなら、まずLinkedInのアカウントを作るべきだと思います。

會澤：そうですね。LinkedInは絶対に使うべきです。

佐々木：私のこれまでのキャリアは全てLinkedInがきっかけだったので、1番大切なファースト・ステップだと思います。履歴書の書き方も日本とは全然違うので、人に頼ったり聞いたりしてオーストラリア仕様の履歴書を作成することもポイントですね。オーストラリアで仕事を

つけるとなると、オージーに加え移民同士でも競争することになるので、非常に競争率が高くなります。バイリンガルの人もたくさんいる中で、自分にはどんなユニークなスキルがあるのかというのを常に考えながら、それを元に履歴書を作成したり、LinkedInを更新したりして対策すると良いと思います。今やっていることをどのように次につなげていくか、常に自分で考えながら行動していくと自然と強い意志というものが出来上がっていくのではないのでしょうか。

フォーサイス：LinkedInはキャリア構築に欠かせないツールですよ。

佐々木：私は大学院に在学中、現地で職歴を付けてフルタイムにつなげていくことをすごく意識していたので、インターンやカジュアルで働いて経歴を増やし、順々にステップ・アップしてきました。大学院を卒業後、オーストラリアの広告会社で働いていたのですが、LinkedInを通して向こうから連絡が来ました。日本語の顧客対応ができる人が欲しいということで入社しましたが、1年弱でソフトウェアの会社に転職し、そこでCanvaとのつながりができ、良い人とのネットワークも増えていきました。2年くらい働いた後に、Amazon Alexaのプロダクトをテストするチームに転職して1年ほど勤務しました。そして、以前から仲良きさせて頂いていたCanvaの同僚にリファールしてもらい、Canvaでプロダクトに関わる仕事に就いてもうすぐ2年が経ちます。ネットワークがすごく大事だと感じています。最初から大きな会社で働けたわけではなく、自分の時間をちゃんとうまく使っているが葛藤することもありましたが、オーストラリアで仕事に就いて永住するという目標をずっと持っていたので、頑張っ

てステップ・アップしていけました。最初の目標を高め

に設定しすぎてしまう人が多いかもしれませんが、自分の置かれた環境で経験やスキルを積み、上手く次につなげていくことが、オーストラリアならではのキャリア構築と言えるのかもしれません。転職が盛んなので、そこはすごく大事だと身に

しみて感じています。

會澤：転職が盛んでマイナスに取られない点が、日本とは違いますよね。転職することにレベル・アップしていく風潮は日本にはまだないような気がします。

フォーサイス：オーストラリアでは、1社に長く居すぎると逆に「何で？」「何かスキルはないの？」と捉えられる場合もあり、2、3年ごとに新しいチャレンジをしている人の方が魅力的に感じるHRの方々がいたりするのも事実だと思います。

會澤：肌感ではありますが、サイクル的には2、3年が多いですよ。

フォーサイス：私は、ずっと日本とオーストラリアに関わる仕事をしたいという軸があり、それにたどり着くには何をすれば良いのか、さまざまなディシジョン・メイキングをしてきました。求人がなくても、オーストラリア大使館や日本にある州政府の駐日事務所、商工会議所など「日豪」

「オーストラリア」「ニュージーランド」が名称に付いている所にはとりあえずメールを送りました。QLD州政府駐日事務所の代表から「最初はインターンとして始めて下さい」と言って頂いたのがきっかけですが、結局3日で「雇用します」と言ってもらえ、結局そこに8年いたというのが私のキャリアの始まりです。最終的にはそこでQLD州の教育の担当マネージャーになりました。求人があるかどうかより先に、自分がしたい仕事や入りたい会社などがあるのなら、LinkedInやメールを活用して自己アピールするべきだと思います。日本人があまり得意としていないことだと思いますが、自己アピールする力はオーストラリアではすごく重要です。それはキャリアの始めだけでなく、キャリアを構築していく上で、本当に必要なことだと言えます。8年間日本で働き、次はオーストラリアでの経験も欲しいと思い、中でもシドニーに行きたいと考え、いろいろな人に「仕事を探しています」と話していたところ、オーストラリア連邦政府の貿易投資庁に人を探している部署があると聞き、そこにLinkedInを通して連絡したのが転職のきっかけです。LinkedInや人とのコネクションなどネットワークは、今後オーストラリアで働きたいと思っている人にとって本当に重要なポイントだと思います。

ネットワークとコミュニケーション能力の重要性

佐々木：本当に人と人とのコネクションやネット

ワークはすごく大切で、履歴書やメールを送るのもそうですが、返事がなくても更にフォローアップして、あきらめずにしがみつくといいか、どうにかして頑張って反応をもらおうというのも大事ですよ。

會澤：コネクションを生かすという意味では、やはり誰かに紹介を受けるということは、その人の信頼を借りることになるので、日ごろから自分が努力していることや、やりたいと思っていることを、つながっている人に分かってもらうのがすごく大切だと思います。「紹介したい人になる」というのがポイントかもしれません。

佐々木：オーストラリアではリファーマルも多いです。仕事を見つける際、そこで働いている人にリファーマルしてもらったら、やはり人事からも「この人がお勧めする人だったら良い人かな」と思ってもらえることができ、次のステップに進みやすくなります。そこで信頼を買うというか、會澤さんが言った通り、いかに紹介したいと思わせるかがすごく大事だと思います。それも自己アピールして自分を売っていくことにつながるのではないのでしょうか。本当に良い意味できちんと主張したり結果を出していけないと、チャンスは回って来ないです。

フォーサイス：うまくいけば、さまざまなチャンスが無い込んで来るので、フットワークを軽く、いろいろな所に顔を出すのもすごく大切ですよ。

佐々木：オーストラリアに移住して思ったことは、やはり英語力を何とかしないといけないという気

持ちがすごく強くなりがちですが、移民が多いので、英語がパーフェクトでなくてもいい場所で働けるということです。そういう人がなぜ働けているかという、やはりコミュニケーション能力の高さなのではないでしょうか。完璧な英語ではなくても、その人と話していると楽しくて、言っている内容もすごく良いことで、もっとその人と話したいと思わせる人は魅力的ですよ。コミュニケーション能力は、勉強だけでは身に付かず、いかにフットワークを軽くしていろいろな人と会って話し、経験を積んでいくかに尽きます。そうすることでより改善されていくため、もしかしたら言語力以上に大切なかもしれません。オーストラリアに来る人や海外を拠点に活躍したい人は、絶対にコミュニケーション能力を伸ばした方が良いと思います。

プライベートと仕事のバランスの取り方

フォーサイス：私はオーストラリアに引越す際、子どもを作ることを見据えてきました。目標とするロールモデルの方々は、オーストラリアで働いている人が多く、オーストラリアの企業が働く女性や母親に対しての理解が大きいと感じる部分があったことも、移住のきっかけです。フレックス・タイムの働き方を導入している企業がとても多く、私が勤める豪日経済委員会でも、子どもとの予定を優先したフルタイムの働き方をベースとした契約になっているので本当にありがたいで





す。日本では、そういう働き方をしているロール・モデルが私の周りにはあまりいませんでした。そういう意味でオーストラリアは、働く母親にとって絶好の場所だと個人的に思っています。本当にフレキシブルに対応してくれる企業が多い印象です。

會澤：私の場合、子どもがいないのでワーク・ライフ・マネジメントに重点を置いています。経営者として営業はもちろん、経理なども担いビジネスを前進させていかなければならないため、家庭を大事にしてバランスをとっていくことはなかなか難しい部分がありました。ビジネスを立ち上げてから4年くらいは時間のマネジメントとしてビジネス8割、プライベート2割といった感じでしたが、パートナーが家事などをしてくれていたおかげで、私はビジネスに専念することができました。オーストラリアはライフスタイルも多様な国なので、パートナーシップを持ちながら、ビジネスに重きを置くという生き方をしても「パートナーがかわいそう」とか「家のことをしなくて大丈夫なの？」と言われたり思われたりすることはありません。仕事とプライベートのバランスの取り方は自分次第です。オーストラリアだから起業できたのかなと感じています。パートナーのおかげですね。

佐々木：私は、特にCanvaに入ってからワーク・ライフ・バランスが大事にできていると感じます。昨年、仕事が楽しすぎて全然休みを取っておらず、人事部から連絡が来ました。仕事を休むことに対する罪悪感を持つ必要が全くないし、フレックス・タイムもそうですが、子どもがいる人は、お子さんのピックアップなどで1時間抜けてその代わり他の時間を補うということも普通です。それが当たり前に行われているのが、すごくすてきだと思います。休み中の連絡は見ないという人も結構多くて、みんなそれをリスペクトしています。私がときどき休み中に返信したりすると「休みだから返さなくていいよ」と声を掛けてくれるので、休むことに対する罪悪感が全くありません。「自分のメンタル・ヘルスや健康のためにも、自分の時間をしっかり取ってね」という姿勢を感じることが出来ます。働きながらすごく良いプライベートの時間も取れていると実感しますね。パートナーとの時間についても、できる方ができることをするというスタンスで、家事などは手が空いている方がするのが当たり前なので本当に過ごしやすいです。そういう対等な関係がすごく良いかと、オーストラリア来て感じています。

フォーサイス：パートナーに関して私も本当に同感です。オーストラリアでは、男性の育休の取得なども多いです。子どものために休むことも普通です。女性だから母親として仕事とバランスを取らないといけないというようなことはなく、女性も男性もジェンダーを問わず働きやすい環境を整え、子どもがいる人はもちろん、プライベートとのバランスを取りやすい働き方を推進している企業がすごく多いですね。パートナーの存在とオーストラリアの社会が見る男女の役割が日本と

コネクションを
生かすためには
「紹介したい人になる」
ことがポイント

會澤

オーストラリアで
キャリアを築くために
重要なことは
自己アピールする力

フォーサイス



自由で
型にはまらないのが
オーストラリアの
良さだと思う

佐々木

は少し違います。

會澤：オーストラリアでは、男性でも女性でもできる方がするとうスタンスをどのように家庭の中で取り入れるかは、自分たち次第ということ、社会全体が快く受けとめている気がします。専業主婦でハッピーな家庭、共働きでお互いが50/50の関係、男性が専業主夫になるなどさまざまな形があって「あなたの家庭はどのパターン？」みたいな感じで聞かないと分からないというか、コミュニケーションを取って初めてその形を知り、更にそれが尊重されているように感じます。

フォーサイス：パートナーシップが異性というわけでもないですね。同性カップルもたくさんいるので、そういうところにも社会の在り方が表れているのではないのでしょうか。

佐々木：型にはまっていないですね。仕事やキャリアもそうですし、プライベートやパートナーシップに関しては本当に自由で型にはまらないのがオーストラリアの良さだと思います。私は他人と自分を比べることがシドニーに来て全くなり、それはすごく大きな変化でした。もっといろいろな人にも同じように感じて欲しいです。

家族やパートナーシップの在り方

佐々木：オーストラリアは、家族との絆がすごく強く、すぐにパートナーに家族を紹介する傾向があります。私もお付き合いして1カ月くらいで相手の家族と一緒にクリスマスを過ごしたりしました。すごく良いなと思ったのが、文化の違いが当たり前なので、リスペクトしつつ違うのは当たり前という心意気で過ごせるので、変に気を使わず、オーストラリアの私のファミリーみたいな感じです。日本の義実家というイメージではなく、休みがあるたびに訪れて家族みんなでアクティビティーをしたりします。そういう話を周りでも結構聞くので、家族の存在がすごく大きいと感じますね。

フォーサイス：私の彼もシドニーに家族がいるので、週末に会いに行くなど家族と過ごすことが多いです。私も付き合ってからすぐ彼の家族との交流がありました。私は事実婚で、結婚という法律にとられない形を取っているのですが、オーストラリアでは、それが普通なので誰も何も聞いてきません。本当に自由なリレーションシップやパートナーシップの在り方だと、オーストラリアに来て実感しています。

會澤：私はすごくトラディショナルな家で育ち、20代で結婚して欲しい、子どもを産んで欲しいという家族の思いがありました。日本に帰るたびに、戻ってきて欲しいと母に泣かれてしまいます。家族の幸せを願いたいし、家族が望むことをしてあげたいという気持ちがある一方、私は働きたい、ビジネスを成功させたいという気持ちの方が強く、家族とのつながりは、本当にトラディショナルな家で育ったからこそ感じるがあります。日本では、同じような境遇で葛藤する女性が多く支援が必要だとひしひしと感じたため、

女性の社会進出を支援するビジネスをスタートさせました。もし私が「年齢に関係なく好きなことをどんどんやって欲しい」という家庭で育てたら、サポートが必要な人がいることに気付かなかったかもしれません。家族やパートナー、子どものことを優先して、自分がやりたいことを犠牲にするのではなく、パートナーや子どもの幸せも願いながら自分のやりたいことができる社会が理想だと日々感じています。

佐々木：パートナーシップといえば、オーストラリアでは結婚していなくても一緒に住んだり家を購入したりするのが珍しくないですね。私自身、最近婚約したのですが、婚約する前に一緒に家を買って、犬も飼いはじめました。日本とは順序が逆ですね。

會澤：子どもを産んでから結婚する人も多いですね。

佐々木：型にはまらず、相手との信頼関係やリスペクトがあれば、いろいろなステップを踏んでいけるので、周りの友人や知人には、デフォクトのまま家を購入したカップルも多いです。それがすごく良いなと思います。

離れて暮らす家族とのコミュニケーション

フォーサイス：家族とのコミュニケーションで言えば、離れて暮らしているとやはり意識して環境を作り、関係を築かなければ会話などがなくなってしまいう状況に置かれますよね。私は大家族で、オーストラリアと日本に家族が散りばめられている状況なので、意識的に自分の国にいない家族とコミュニケーションを頻繁に取るようにしています。そういった意味でも家族でのYouTube運営にたどり着いたと言えます。

佐々木：私自身がすごく連絡不精で、家族や友人に連絡を密に取るタイプではないので、本当に意識的にコミュニケーションを取らないと何も話すことがなくなってしまいます。食べた物や愛犬の写真を送るなど、気軽に連絡して気が向いたら返信が来るというカジュアルな感じでも十分だと思っています。

會澤：すごくお二人に同感で、意識してコミュニケーションを取ることが、海外に住む上でとても大事なことだと思います。日本にいた時は、家族は当然そこにあるものと思っていたので、家族と毎日連絡を取ったりはしていませんでした。でも、こっちに来て当たり前ではないと気付いたからこそ、意識的にどうでもいい話でもあえて連絡するようになりました。多分、日本にいた時よりも密に話していますし、仲も良くなったと思います。友人に関しても同じことが言えます。当たり前だと思っていたことが、そこにはないからこそ余計に大切にできていると感じます。

—本日はありがとうございました。

(1月29日、シドニー市内で)

人生は限られた時間のジャーニー 後悔のないよう積極的に行動したい

すみれ日本語教室

ハワード 美香さん

ハワード・ミカ

2009年に来豪。2人の子育てを通じて海外で日本語を習得することは難しいと痛感し、13年間の教員経験を生かし、1人でも多くの子どもたちに母国語である日本語を継承してもらいたいと13年10月「すみれ日本語教室」を開講。17年1月から法人化し、日本語教室の他に「すみれ留学」や「すみれオンラインこども日本語教師養成講座®」なども実施している

—オーストラリアに移住し、日本語教室を始めた経緯をお聞かせください。

東京で13年間教員生活をする中で、自分の子どもには、受験に縛られず個性を育て、できないことにフォーカスするのではなく、できることをどんどん伸ばしていける教育を受けさせたいと思っていました。オーストラリアは、私が理想とする教育方針だったので長男の小学校の入学に合わせて移住を決めました。私と子どものコミュニケーションは日本語ですと決めていたので、我が子に日本語を教える傍ら日本人のママ友のお子さんたちにも、自宅の小さなリビングで日本語を教え始めたのが起業のきっかけです。日本語を学べる学校や教室は他にもありましたが、週末は家族と時間を過ごしたかったので平日の短時間で集中して学べる教室にしました。

—すみれ日本語教室の特徴や強みを教えてください。

すみれ日本語教室は、少人数制で1人ひとりの良いところを見つけ、その長所を伸ばしていく教育をしています。未就学児クラスでは4技能（聞く・話す・読む・書く）はもちろん、左脳だけでなく右脳も刺激するレッスン内容になっており、バランスの取れた教育に重点を置いています。子どもたちの年齢に捕らわれず、リミットを決めずに強みを発見し、能力を伸ばしていくことによって自信を付けてもらえるよう、教師陣と同じ方向を向いて指導しています。現在、対面クラ



コロナ禍を機に始めたオンライン・レッスンが好評に

スはブリスベンに2教室、ゴールドコーストに6教室あり、14クラス開講しています。オンライン・クラスは、世界各国からたくさんの子どものために受講して頂いています。保護者との関わりも大切にしているため、タームごとに保護者会を開き、子育ての悩みなどを聞いてアドバイスをしています。不定期ですが、教育関係のセミナーも開講して情報提供を行っています。

—コロナ禍ではビジネスにどのような影響があり、それをどう乗り越えたのですか。

忘れもしない2020年3月20日、ゴールドコーストがロックダウンになってしまい、順調だったすみれ日本語教室のレッスンは全てできなくなりました。大至急、オンラインで保護者会を開催し「ぜひオンラインで日本語を教えて欲しい」という熱いメッセージをたくさん頂き、右も左も分からないオンラインでのレッスンの構築をスタートさせました。保護者の方々から頂いた言葉は、今も深く心に残り、私の一生の宝となっています。子どもたちに楽しく集中して受講してもらえよう試行錯誤してレッスン・プランを構築すると同時に、オンラインで子どもたちに教えられる先生の育成も開始しました。「すみれオンラインこども日本語教師養成講座®」を開講し、今年で3年目となります。

—今後ビジネスを立ち上げたいと思っている方々にアドバイスを頂けますか。

一番伝えたいのは「バランス」を取りながら働くことがとても大切だという点です。「仕事・家族・健康・プライベート」の4本柱が崩れないようゆっくりと着実に進めていくことをお勧めします。人生は一度きりなので後悔しない生き方をしたいと思っています。会社経営をする場合、特に「人間関係」の悩みが多くなってくると思いますが、自分1人では解決できないこともあるため、関わってくれている人たちを大切に、初心を忘れず進んで行きましょう。それはいつも自分に言い聞かせていることでもあります。

ゴールドコーストを拠点に、すみれ日本語教室を経営するハワード美香さん。オーストラリアへの移住を決めた理由をはじめ、日本語教室を開いた経緯やサービスの特徴、コロナ禍でピンチをチャンスに変えた機転の根源、働く上で大切にしていること、今後の展望などについて、話を伺った。



すみれ日本語教室開校10周年ではイベントを開催

—今後の展望をお聞かせください。

今後は、特に海外でバイリンガル子育てに挑戦するママたちへのサポートや、子育てが終わり新たな人生のフェーズを歩んでいく女性たちがより幸せに生きられるようなコミュニティを築いていくことを目指します。人生のジャーニーで私たちが共に歩む中、ポジティブでエネルギーな親子関係が、子どもたちに未来への自信と喜びをもたらすと信じています。新しいフェーズに進む女性たちが、支え合いながら幸せに輝く未来を共有できるような場を作り上げていき、たくさんの方が幸せになるような活動をしていきたいです。

これからも家族やすみれスタッフ・メンバーを大切に海外に住む子どもたちに楽しく日本語を学んで頂けるように精進して参ります。また、弊社にしかできない留学をして頂けるよう特別プログラムを用意して手厚くサポートしていきます。今年からは「すみれ日本留学」をスタートさせ、海外の中高生が日本でのホームステイや就学、日本文化を体験してもらおうプログラムも提供します。限られた時間の人生、後悔のないようにやりたいことは恐れずに積極的に行動していきたいと思っています。その先にはワクワクした未来が待っていると信じています！

Sumire Education Centre Pty. Ltd.

●住所: 9 Attadale Court, Elanora QLD 4221 ●Email: info@sumireedu.com ●Web: www.sumireedu.com, www.howardmika.com



Japanese Community News

各記事の文末に記載しているQRコードから、関連記事やより多くの写真を盛り込んだ完全版などをオンラインでご覧頂けます。

東京都・NSW州友好40周年記念式典 小池都知事を招きパネルディスカッションなどを実施



左からメラニー・ブロック氏、小池都知事、サム・モスティン氏、堀江崇之氏、デブラ・ヘーゼルトン氏

シドニー市内にあるデロイト社のセミナー・ルームで2月5日、DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）をテーマとしたイベントが開催された。同イベントは、日豪経済委員会（JABCC）、豪日経済委員会（AJBCC）、シドニー日本商工会議所の共催によるもので、東京都とNSW州の友好40周年記念でシドニーを訪問していた小池百合子・東京都知事を招待し、講演やパネルディスカッション、交流会を実施。会場には約200人が集まり、大きなにぎわいを見せた。

小池都知事は、日本とオーストラリアの共通課題への解決策として、東京都の気候変動対策や水素事業について講演し、東京都のビジネス関連施策である「SusHi Tech Tokyo (Sustainable High City Tech Tokyo)」についても言及。世界共通の課題を、最先端テクノロジーや多彩なアイデア、デジタル・ノウハウを駆使して克服し、持続可能な新しい価値を生み出すことを目指すと話した。

また、JABCC運営委員のメラニー・ブロック氏がモデレーターを務めたパネル・ディスカッションに



講演をする小池都知事

は、小池都知事、サム・モスティン男女共同参画タスクフォース会長、堀江崇之・三菱商事オーストラリア社長、デブラ・ヘーゼルトン豪日経済委員会副会長がパネリストとして参加。DEIをテーマに熱い議論が繰り広げられた。

小池都知事は「いつの時代も変革を起こすのは“人”のため、東京都では、国に先駆けて“3C (Children, Chōju, Community)”を核として、1人ひとりの力を引き出す政策を推進してきた」と話し、育児休業は「休み」ではなく「未来を育む大切な仕事」とイメージを一新するため、公募により育児休業の愛称「育業」を作り、社会の気運醸成に取り組んでいると続けた。



令和6年天皇誕生日祝賀レセプション 在オーストラリア日本国大使公邸で開催

在オーストラリア日本国大使館は2月13日、キャンベラの日本国大使公邸で天皇誕生日を祝賀するレセプションを開催した。会場にはリチャード・マールズ副首相兼国防大臣や、ドン・ファレル貿易・観光大臣兼国務大臣、クリス・ポーエン気候変動・エネルギー大臣、マデレイン・キング資源大臣兼北部豪州大臣らオーストラリア政府要人をはじめ、官界、経済界、文化人、在豪日系企業の代表者らなど日豪の要人約520人が訪れた。

鈴木量博・在オーストラリア日本国大使は、あいさつの冒頭で1月の能登半島地震に対しアルバニー州首相をはじめ多くの豪州の方々から見舞いの言葉があったことについて謝意を述べると共に、ビクトリア州及びクィーンズランド州での洪水被害に対しお見舞いを伝えた。また、さまざまなレベルでの活発な人的交流、伝統的貿易関係を越えネットゼロに向けた幅広い経済関係、更に、航空自衛隊F-35Aの豪州初飛来や多くの共同訓練等安全保障・防衛協力の深化など、強固な日豪関係の現状を紹介した。



左から鈴木大使、ポーエン気候変動・エネルギー大臣、マールズ副首相兼国防大臣、鈴木大使夫人、ファレル貿易・観光大臣兼国務大臣

同レセプション実施においては、さまざまな分野の日系企業及び当地関係団体が協賛。多くの来場者が最新モデルの水素・電気自動車やロボットなど日本の高い技術に触れ、大麦牛の寿司や手打ちそばなど日本食を味わうことを通じて、観光を含め日本への関心を一層高める機会となった。復興支援や風評被害払拭への願いを込め、日本から取り寄せた福島県産日本酒や北海道産ホタテなどが会場で振る舞われ、来場者からは堪能した、応援したいとの言葉が寄せられた。豪州各地のゲストに日本の多様な魅力を伝え、強固な日豪関係を象徴する会となった。



日豪ビジネス協会 メルボルンで新年会を開催



左から日豪ビジネス協会前職権取締役・ローラ・ヒューズ氏、味口奈津子・在メルボルン日本国副総領事、日豪ビジネス協会CEOセレステ・コラボス氏

メルボルンにあるグッド・ヘブンズ・ブルー・トップ・バーで1月31日、日豪ビジネス協会（AJBCV）が主催する新年会が開催された。会場には約150人が集まり、味口奈津子・在メルボルン日本国副総領事や、産業貿易投資局副局長兼インベスト・ビクトリアCEOダニー・ジャレット氏らに参加した。

日豪ビジネス協会CEOのセレステ・コラボス氏は、これまでビクトリア州と日本間で行われたイベントの成功や両国の関係の成長を振り

返ると共に、新設されたオーストラリア日本ビジネス・ウィメンズ・ネットワークを通じて女性リーダーの重要性を強調し、近年メルボルンで日本企業が増加しているのはビクトリア州と日本の継続的な関係成長の象徴であると述べた。

また、味口副総領事は「新任の日本国副総領事としてメルボルンに到着し、ビクトリア州でのオーストラリア・日本関係の強さに感銘を受けた」とスピーチした。



能登半島地震災害支援チャリティー・イベントを開催 子育て支援サイト「メルファミ!」の運営メンバーが企画



青空の下開催されたピクニック・イベント

能登半島地震の災害支援チャリティー・イベント「メルファミ!ピクニック」が1月27日、メルボルン北郊クリフトンヒルのヤラベンド公園で開催された。同イベントは、メルボルンを拠点に活動する子育て支援サイト「メルファミ!」の運営メンバーが企画し実施した。イベントの開催に向け事前にSNSでボランティアを募集したところ、ワーキング・ホリデー・メーカーや学生など若者を含めた16人が集まり、参加者は53人となった。

日本食レストランの食事券やキャンドル、石けん、日本茶などの商品が寄付として集まり、当日は、くじ引きなどが行われ寄付金が募られ、和太鼓のワークショップや巨大シャボン玉、スイカ割りなどが行われ、盛りだくさんのイベントとなった。集まった寄付金777.15豪ドルは全額「オールこども石川」へ寄付され、被災地の保育施設や各施設の職員、被災した乳幼児と保護者を支援する活動費として使われる。

沖縄エイサーチャンプルー コミュニティ・イベントで沖縄文化を発信



エイサーチャンプルーのメンバー

シドニーを中心に活動する沖縄太鼓ダンスのエイサーチャンプルー(Eisa Champ Roo)が、カウンシル主催のさまざまなコミュニティ・イベントに出演し、活躍を見せている。2月3日、シドニー西郊に位置するパーウッド公園で行われた「ライト・ア・ランタン」では、イベントの終盤に登場しシンカヌチャーのダンスを披露。旧正月に向けて準備されていた手作りの獅子舞が登場すると観客は盛り上がり会場をわかせた。また、2月10日の旧正月を祝うシ

ティ・オブ・シドニー主催の祭りでは、中華街のメイン・ステージでパフォーマンスを披露。2月16日には、シドニー南西部に位置するリバプールのマクウォリー・モールで行われる「ランタン&ライト・フェスティバル」に登場した。3月19日にNSW州北部に位置するグレンデルにある「Holy Cross Primary School」で行われるイベントでは、ジャパニーズ・インフュージョン・ワークショップが開催される予定だ。



美術作品への理解がより一層深まる NSW州立美術館日本語ガイド・ツアーの魅力とは!?

NSW美術館(Art Gallery of NSW)で行われている日本語ボランティア・ガイド・ツアーをご存知だろうか。自動音声ガイドとは違い、ガイドごとに個性が光る案内が魅力で、日本語で双方向のコミュニケーションをとることでより深く作品への理解を深められるお助めのサービスだ。では、どのような人がガイドを務めているのか。2023年12月に日豪プレスでインターンシップ・プログラムに参加した東京経済大学2年生の学生が、日本語ボランティア・ガイド・ツアーを体験し、ガイドの鴨粕弘美さんにインタビューを行った。

(インタビュー・写真=小山田衣織)

—日本語ボランティア・ガイドを行うに至ったきっかけは何でしたか。

「定年が近くなった時にオーストラリアで日本人の墨絵の先生に出会い、2003年ごろ、そのご縁でこのボランティアを紹介してもらい、応募したのがきっかけです」

—20年以上続けることができた理由は何だと思えますか。

「『他のこともやりながらボランティアをやる』というのがポイントですね。それに、アートを通じて、これまで知っていた断片的なものにつながる感覚があって、知れば知るほど面白いです。見方もいろいろあって、同じテーマの作品でも全然違って描かれていたり、見る人によって感想が全然違ったりします。私は、作品を鑑賞した人がどう捉えるかを大切にしています」

—普段、美術館をあまり訪れない人は、作品をどう見たら良いか迷っていると思います。何かお

勧めの方法やアドバイスはありますか。

「どの作品にも説明が書いてあるので、スマートフォンを利用して翻訳するなどして、それを読んでもらうのが良いですかね。音声ガイドを使うのもお勧めです。若い人はあんまり美術館に行かないですか?」

—遊びに行く時の選択肢にはあまり挙がらないですね。どちらかというと博物館の方が人気な気がします。

「得に日本の美術館は入館料が掛かるので、そこはオーストラリアと違うところですね。学校の授業の一環で美術館に行くなど、あんまり聞かないので残念です。漫画やアニメよりもっと前の段階の浮世絵や墨絵など、若い人に知ってもらい、もっと美術の知識に自信を持ってもらいたいです」

NSW州立美術館では、子どもたちを対象にした参加型のイベント開催などが増えています。そういう企画がもっと増えれば、日本でも美術館



日本語ボランティア・ガイド鴨粕弘美さん(右)と筆者

は堅苦しいものというイメージが消えるのではないのでしょうか。アートはもともと楽しいもので、アーティストたちがそれぞれ違う方法で表現するから、みんなと同じである必要がなく自由です。自由に見て、自由に感じて欲しいです」

インタビューでは、鴨粕さんにボランティア・ガイドに対する思いや、日本の美術館の在り方などを語ってもらい、芸術を楽しむことの自由さを学んだ。NSW州立美術館では現在、期間限定の特別展として「カンディンスキー展」と「ブルジョワ展」が開催されている。これらのツアーにも日本語ガイド・ツアーが用意されているので、常設展と合わせて訪れてみてはいかがでしょうか。詳しい取材記事は右記QRコードよりご覧ください。



男子はヤニック・シナー、女子はアリナ・サバレンカが優勝 テニス4大会のシーズン第1戦、全豪オープン2024が開催

テニスの4大会（グランドスラム、GS）のシーズン第1戦、全豪オープン2024は、メルボルン市内のメルボルン・パークで1月14～28日に開催された。全豪オープン（OP）の撮影や取材をして16年になるライターが、今年全豪OPの印象や成績をまとめた（選手の世界ランクは2024年1月付け）。

（文・写真=板屋雅博）

今年の入場者数は昨年の84万人から20%増加して102万人を超えた。これまでのGSでの記録は昨年の全米OPの95万人。100万人を超えたのはGS史上初である。センターコートであるロッドレーバー・アリーナの中央部普通席は平日でも1席2,000豪ドルを超える。その総収入はいったい幾らに？と気になる。

数年前にできた巨大なメディア・センターには世界中からのジャーナリスト、カメラマンが詰めかける。巨額の資金が集まり、世界の注目を集める全豪OPには毎年、大型テニスコートやアミューズメント施設が次々に建設され、更に全豪OPの魅力が増す好循環が生まれている。

シナーがイタリア人初の優勝

男子シングルスで初優勝を飾ったのは第4シードのヤニック・シナー（20歳、イタリア）だった。筆者は、第1シードのノバク・ジョコビッチ（36歳、セルビア）が本命、悪くても第2シードのカルロス・アルカラス（20歳、スペイン）の優勝を予想していた。ところが準決勝でジョコビッチがシナーに負けてしまった。しかもセット・カウント1-3と一方的に打ち負かされた。

ジョコビッチは数年前のコロナ禍の中で全豪OPのビザ問題で騒ぎを起こしたために、オーストラリアでは嫌われ者である。試合最中に直接的な批判はなかったが、セルビア・ファンを除く会場全体がジョコビッチの対戦手を応援するという、異様な雰囲気の中で戦いだっただけ。シナーはジョコビッチ戦までは1セットも落とさないう絶好調で勝ち進んでいた。

決勝戦ではダニール・メドベージェフ（27歳、ロシア）に2セットを先行され「あやや」と追い詰められた。しかし、決勝までフルセットを3回も戦い体力的な限界に来ていたメドベージェフに対して、1セットしか落とさずシナーは余力で勝利、イタリア人では史上初となる全豪OP優勝という快挙を成し遂げた。

メルボルンでのイタリア移民の歴史は古く、カールトン地区のライゴン通りには、イタリア料理店が数十軒建ち並ぶ。決勝戦の夜は遅くまでライゴン通りに陽気なイタリア人の歓声が響いた。

サバレンカが連覇

女子シングルスでは、第2シードのアリナ・サバレンカ（25歳、ベラルーシ）が昨年に続き連覇した。サバレンカは22年の全米OPから数え、GSを5大会連続で準決勝以上に進んだ実力者であり、連覇も当然という風格であった。

イガ・シフィオンテク（1位、22歳、ポーランド）、ココ・ガウフ（3位、19歳、米国）など、混戦



イタリア人として初の全豪OP優勝したヤニック・シナー

が続く女子シングルスでは誰が勝っても不思議はない状態であった。筆者が注目していたオンス・ジャバー（6位、29歳、チュニジア）は、ロシアの新鋭、16歳のミラ・アンドレーワ（35位）に敗れた。アンドレーワは4回戦まで進み、世界を驚かせた。優勝賞金は、男女共に315万豪ドル（約3億1,000万円）である。

豪州の期待を一身に集めた第10シードのアレックス・デミノー（24歳）だが、4回戦でフルセットの末に敗れ、初のベスト8入りを逃した。年初に西豪州パースで行われたユナイテッド・カップでジョコビッチやテイラー・フリッツ（9位、26歳、米国）を破っており、今大会では期待が大きく高まっていた。

女子では22年にアシュレイ・バーティ（27歳、引退）が全豪で優勝しているが、男子では1976年のマーク・エドモンドソンまで遡る。世界屈指のテニス・ファン数を誇る豪州でまたも戴冠の夢は幻と消えた。

大坂なおみ、OP復帰戦で敗退

日本期待の大坂なおみは、1回戦で敗退。第16シードのカロリーヌ・ガルシア（30歳、フランス）に4-6、6-7でストレート負けした。22年の全米OP以来5大会ぶりの復帰であり、まだ全開にはほど遠い状態であった。サーブの確率は51%、ストローク戦も凡ミスが多く調子に乗れなかった。何よりも、重そうな体はGSで1勝を勝ち取るにはかなりの道のりと思わせた。

出産を経て母となり精神的には落ち着いた様子であり、負けても淡々と心境を語っていた。シード権も失っているが、まだ主催者推薦で本戦には参加できる。今後ツアーに参戦し、体を鍛え直して、全仏、全英、全米OPと階段を登ってみたい。

日本勢では17歳の2人が明るい話題で飾った。車いす男子シングルスの小田凱人とジュニア男子シングルスで坂本怜が、それぞれ全豪OPで初優勝を飾った。全体では低調であった日本勢だが、この2人の活躍で締め練りを迎えられるのは幸いであった。

国枝慎吾の後継者と目されている小田は、昨



全豪OP連覇を飾ったアリナ・サバレンカ

年の全仏、全英OPに続いて全豪OPを制し、小田の時代に入ったとも言える。パリ・オリンピックと4大会を含めて4年に1度しかない年間ゴールドスラムのチャンスがある。国枝の時代と違って今は車いすテニスの知名度も上がり、小田の優勝は日本の各メディアで大きく取り上げられた。

ジュニア男子シングルス決勝では第4シードの坂本怜（952位）が、1セットを取られながらも逆転で勝利し、ジュニアGS初優勝を飾った。全英OPを制した望月慎太郎以来2人目である。193センチ、80キロと体格に恵まれて時速210キロを超すサーブを打つ。錦織圭や西岡良仁、マリヤ・シャラポワなど一流選手を輩出した米国フロリダのIMGアカデミーで15歳からテニス留学をしている。優勝後に披露した侍ポーズや冗談好きなど既にスターの要素は十分に持っている。優勝後にプロ転向希望を口にしており、近いうちのプロ宣言が予想される。



期待を集めた大坂なおみが1回戦で惨敗した



観客102万人を突破した全豪OP、ロッドレーバー・アリーナ



PROFILE

Jo Keiko Terasawa

島根県出雲市出身。東京女子大学を卒業後、バース大学で修士号を取得。英国から帰国後、医療コミュニケーションと研究専門知識の分野でキャリアをスタート。その後HR分野へキャリア・チェンジし、2011年Googleに入社。オーストラリアへ移住し、シドニー大学で労働法と労働関係の修士号を取得。現在は、アジア太平洋地域のインクルージョン戦略責任者を務める

PROFILE

作野善教 (さくのよしのり)

doq®創業者・グループ・マネージング・ディレクター。米国広告代理店レオバーネットでAPAC及び欧米市場での経験を経て、2009年にdoq®を設立。NSW大学AGSMでMBA、Hyper Island SingaporeでDigital Media Managementの修士号を取得。移民起業家を称える「エスニック・ビジネスアワード」ファイナリスト、2021年NSW州エクスポート・アワード・クリエイティブ産業部門最優秀企業賞を獲得

豪州Google社でDEIを牽引 日本人女性としてのキャリア・ビジョン

対談

寺澤ジョー・
敬子

Googleアジア太平洋地域インクルージョン戦略責任者

作野善教

doq®代表

日系のクロス・カルチャー・マーケティング会社doq®の創業者として数々のビジネス・シーンで活躍、現在は日豪プレスのチェア・パーソンも務める作野善教が、日豪関係のキー・パーソンとビジネスをテーマに対談を行う本連載。今回は、10年以上Googleに勤務し、現在はシドニーを拠点にアジア太平洋地域のインクルージョン戦略責任者を務める寺澤ジョー・敬子氏にご登場願った。

(撮影：クラークさと子)

作野: 来豪された経緯について伺えますか。

寺澤: Google Japanで5年間勤め、次にどうしようかと考えた時期がありました。日本で他の外資系企業に転職するか、社内の他の部署やポジションに就くかの2択で考えていたのですが、イギリスで出会った夫と「いつかまたもう一度海外に住めたらいいね」と話していたこともあり、国は関係なくオープンに仕事を探しました。子どもが3人おり、一番上の子がちょうど小学生になる年だったので、そのタイミングで共働きでき、会社員ではない夫のクオリフィケーションが使える所などいろいろな条件を見ながら、Googleのオフィスがある都市を検討していた際、シドニーへの選択肢が浮上し、2人とも行ったことはなかったものの良い場所だと聞いていたので、移住を決めました。

作野: なるほど。社内異動をしたことになるのですね。

寺澤: はい。ジオ・トランスファーと言うのですが、自分のポジションを持ってオフィス移動だけすることになりました。私はもともとアジア・パシフィックの担当で、ビジネス・ケースがあったので、とんとん拍子で2016年の3月に移動しました。

作野: 運と縁とタイミングが全て合ったという感じですね。生まれと育ちは日本ですか？

寺澤: 学士までは日本です。島根県出雲市の田舎で育ち、大学から東京に出て、卒業後イギリスに渡り大学院生になり、同時通訳を学びました。日本帰国後は、東京医科大学でメディカル・コミュニケーションのリサーチャーとして、医師や看護師、医学生に向けたメディカル英語コミュニケーションの教科書を作ったり、レクチャーをしたり、製薬

会社との治験プロジェクトや医療系の国際NPOの事務局運営などに携っていました。

作野: 現在とは全く違う仕事ですね。Googleに転職されるきっかけとなったのは何ですか。

寺澤: 東京のメディカル系のリサーチャーとして4年間働く中で、ダイバーシティが随分と遅れていることに気付きました。当時所属していた組織内で人事部に移動して変革を起こすより、より長期的な視点を持って、より前向きなことに自分の能力を使いたいと考え、HRに特化した仕事に転職しようと思ったんです。大手外資系のクライアントをサポートするプロジェクトがどんどん入ってきている時期のHRコンサルティング会社から機会を頂け、入社しました。新たな分野を学ぶ気があって、かつ英語のできる人ということで入れて頂き、そこからHRの道を歩み始めました。

作野：なるほど。そういう道を通られてきたんですね。

寺澤：はい。そこで4年間コンサルティングの経験を積み、その後Googleに入社しました。

目からうろこの体験があるダイナミックな環境

作野：現在、Googleでのタイトルが「Head of Inclusion and Equity Program」ということで、アジア・パシフィックのダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（以下、DEI）の責任を持った仕事をされていますが、具体的にどのようなことをしているのか伺えますか。

寺澤：会社など、枠組みの中ではアンダー・レプレゼンテッドと呼ばれる、市場にいるよりそのレプレゼンテーションが低い人たちのためのコミュニティー「Employee Resource Group (ERG)」というものがあり、そこのサポートをしています。ただ単にサポートするだけでなく、グローバルやリージョンのダイバーシティ戦略に合わせた形で、そのコミュニティーの活動を支援しています。社内であ

ジア人女性や黒人女性のリーダーシップ・サミットを作ったり、LGBTQの人たちのためのデベロップメンタル・プログラムを作ったりもしています。

作野：日本特有の、なかなか変えることが困難な環境で仕事をされた後に、Googleという世界でも先進的なカルチャーを持っている会社で、さまざまな取り組みをされているわけですが、その大きな違いをどのように感じていますか。

寺澤：大きな違いは、出会う人たちの幅が広い点です。人種や出身地などバックグラウンドはもちろん、基本的な考え方が全く異なる人たちと毎日仕事をするので、目からうろこの体験が日々あって、例えば、女性だからこうでなければならないとか、もう何歳だからこれをしなければならぬなど、そういう固定概念に自分自身、気付かされる時があります。そういうダイナミックな環境の中にいる分、変化は起こしやすいと言えるかもしれません。

ダイバーシティはどこからでも始められる

作野：ご自身が地方で生まれ育った日本人女性と

いうこともあり、全く違う世界からダイナミックな環境に飛び込んだ。だからこそ、ダイバーシティの仕事をする上で、マイノリティの方々の観点に自分を投影し、その人の考え方をより深く理解できるなどといった面もあるかもしれないですね。

寺澤：ダイバーシティは、スタート時点では違いがありますが、結局、理解を深めていくと同じところに行き着くため、誰がどこから始めても良いと思っています。それぞれが自分のいる環境でできることをやっていくということが大事なのではないでしょうか。

作野：日本のDEIは、世界と比べると非常に遅れていると感じていますが、どのようにお考えですか。また、日本のために何をしたいと思えますか。

寺澤：日本の強みはたくさんあると思いますが、外から見て特にユニークだと思う点は、みんなが同じでなければいけないという基本的な考え方です。みんな違って、それぞれ良い部分があるという観点をなかなか受け入れたいというか……。ダイバーシティとは、異質なものを入れていく作業なので、最初は効率下がります。イノベーションが起きる前に、ダイバーシティだけを取り入れると、混乱や困惑、いら立ちなど、上手くいかないことが最初に出てきます。しかし、そこを避けていては、ダイバーシティがもたらす力をビジネスのイノベーションにつなげていくことはできません。大多数とは違う考え方などに対する拒否反応をコントロールしながら、少しずつ本質的な変革につなげていくという点が大きな課題だと思います。内側からはなかなか変化が起こしづらく、変革を起こそうと思って中から頑張っている人たちが続かないという風潮があるので、外から風を送り込んでいく作業が必要だと感じます。

作野：特に日本では、同調圧力だったり、周りの人がどうやっているかを見て自分も決めるような文化がある中、インフルエンシャルな人が何をやっているか、みんなが注目していると思います。ムーブメントを起こす時は、そのインフルエンシャルな人に同意する人たちと一緒に声を上げていくということが、日本のコミュニティーやビジネスにとって大変有効なアプローチになるのではないのでしょうか。

自己認識レベルを高めることの重要性

作野：日豪間でジェンダーやDEIの仕事や女性リーダーをされている中で最もチャレンジングだったことは何ですか。

寺澤：DEIとは、企業経営において、従業員それぞれが持つ多様な個性を最大限に活かすことが、企業にとってより高い価値創出につながるという考え方をベースにしていますが、そもそも「自己認識 (self-awareness)」のレベルによってその人ができることは限られます。どのように各個人のself-awarenessを上げていくかという点が実は最も難しいのです。困難な事態に対峙した際、各個人のawarenessレベルによってできることが全然違うことが分かります。そんな中、何をするのが最も効果的かという、ストーリーテリングなんです。





さまざまな人のストーリーを聞くことによってself-reflectionができ、自分も話したくなります。自身のストーリーを語る際は必ず内省する必要がありますが、そこで得られる気付きは大きいものとなり、「自己成長」が起こります。トップ・リーダーでもジュニアの人材でも、DEIに関するself-awarenessに関する精錬レベルに、肩書きは全く関係ありません。ジュニアの人でもself-awarenessが高い人は、DEIに関して高いリーダーシップを示すことができます。Googleではそういった人たちが少なくありません。

作野: そのような感覚は、人生においてどのように醸成されるものですか。

寺澤: やはりさまざまな経験をするด้วยですね。経験から生まれるself-reflectionと、あとは、私が「目からうろこ体験」と呼んでいる「aha moment」を体験しているかどうかです。いかに自分の考え方や違う人と触れ合ってきているかだと思います。

作野: なるほど。単一民族で同じ文化の人たちの中で育っている人たちがほとんどの日本に比べると、オーストラリア社会の方が、そういった機会が子どものころから日常的にあるのかもしれませんがね。

寺澤: そうですね。

作野: その中で、寺澤さんみたいに日本で生まれ育った人が、グローバル企業で、そういった役割と仕事をされているのはほんとすごいことだと思います。

寺澤: あんまり自覚はないですが、後々考えてみると、都道府県の中で鳥根県の共働き率が高いということが影響していたのかもしれませんが。私が子

どもの時、専業主婦のお母さんの家はほとんどなく、みんな働いていて、それが当たり前だったので、意外と地方で育っている子どもたちというのは、割と都会のステレオタイプの影響を受けにくいというか、もう少し野放しの状態で育っていたりするんですよ。

作野: 固定概念にはまりにくいということですね。

寺澤: 私もそうでしたが、公立の学校だと、障がいを持った人と同じ教室で勉強するなど、今でいう流行りのインクルーシブ・エデュケーションが40数年前にあったわけです。私には片足義足の親友がいたり、小学生の時に自閉症スペクトラムの同級生が同じ教室で過ごしていたりして、ものすごい発想の意見を言ったりするんです。「あ、かなわないな」って思うような発言をしていたので、そういう経験が現在すごく活かしていると実感します。

全てのベース・ラインで日々変化するDEI

作野: 寺澤さんのパーソナル・キャリア・ビジョンは何ですか。

寺澤: 昔から「being a bridge」ということを念頭に置いていて、何かと何かのギャップの架け橋になりたいという夢がずっとありました。それは通訳であったり、その次はメディカル・コミュニケーションであったり、現在は人事でDEIに携わっていますが、形は違っても、ライフ・ミッションとしてそれを続けていきたいと考えています。DEIは、全ての根幹で、それがあからこそイノベーションが起きます。DEIのホット・トピックは、日々どんどん発展しています。昔は女性だけのトピックだっ

たのが、今はLGBTQ、ディサビリティ、人種など広がりを見せています。それらの研究も進み、DEIのしっかりとしたビジョンを持ち、そこに向かって行動するのが、私のライフ・ミッションだと思っています。

作野: 最後に日豪プレスの読者の方々にメッセージやアドバイスを頂けますか。

寺澤: 変化の中にいると、辛いことばかりが見えてくるかもしれませんが。自身のカルチャー・トランジションも大変ですが、もしお子さんがいらっしゃるのなら、どのようにサポートしてあげたら良いのかを考えてみてください。それまで見えていなかった、さまざまなバイアスのある、困難なチャレンジも出てきたりすると思いますが、それをチャンスと捉えましょう。その経験をした人にしかできないことがあります。だからこそ、チャレンジのタイミングが訪れた際には、ワクワクした気持ちで、例えばレモンをどのようにレモネードにするかといったような「ここから何を学べるのか!?!」といったマインドを保てると良いのではないのでしょうか。そうすることで、時に困難な海外生活も、楽しくポジティブに過ごしていけるのではないかと思います。

作野: ありがとうございます。

(2023年11月24日、シドニー市内で)

より多くの写真を盛り込んだインタビュー完全版、及び英語バージョンはQRコードより。For the English version, please click on the QR code





徹底的に顧客の悩みに寄り添い、
ゼロから立ち上げたスキン・ケア、
ブランドを90億円企業に。



b.glen創業社長

児玉 朗さん

独自の「浸透テクノロジー」で女性の肌の悩みを解決する、カリフォルニアはオレンジ・カウンティ一発のスキン・ケア・ブランド「b.glen」。2005年に同社を創業して、年商90億円企業にまで成長させた創業社長・児玉朗さんに、成功に至るまでのストーリーと今後の活動について伺った。取材：『ライトハウス』

—アメリカに移住した経緯は？

大学時代に行った友人とのアメリカ旅行がきっかけでアメリカが好きになり、「留学でも旅行でもなく、ここで生活してみたい」と思うようになりました。帰国後、「アメリカに移住するなら日本の大学を卒業し、駐在員として渡米するのが最良の道」という父のアドバイスもあり、その可能性のあったキヤノン販売（※現キヤノン・マーケティング・ジャパン）に就職。そこでの営業成績が認められ、入社3年目に駐在員としてニューヨークに赴任したのが私のアメリカ生活の始まりです。

コピー機の営業が任務で、当時110階建てのワールド・トレード・センター・ビルを訪れ、上から下まで全フロアのドアをノックして降りるといふ、いわゆる飛び込み営業をしていました。英語はほとんど話せませんでしたが、当時の日本経済が好調だったこともあり、日本製のコピー機は「営業すれば売れる」ような状況。「英語もできないのに結果は出す」とヒーローのように扱われ、ニューヨーク生活はまさにバラ色でした。

—カリフォルニアに移住したのはなぜですか。

転職辞令です。カリフォルニアに移ってからは一転して人間関係がうまくいかず、仕事の結果も

出ず、次第に虚無感を感じるように。でもそのおかげで「自分はセールスマンになるためにアメリカに来たのではない」と気づき、自身のビジネスを始めようと思いつきました。最初は会社勤めを続けながら、輸出入のビジネスを始めました。会社員としての収入があるので、新ビジネスの利益はそのまま残り、数年で1億円を貯められました。それが次のビジネスの資金となり、いくつか事業を手掛けました。90年代にはインターネットと出会い、ビジネスにすべく試行を重ねましたが、IT業界の展開のスピードの速さについていけず挫折しました。また、2000年頃、「次はバイオの時代だ」という言葉を信じてバイオ・ビジネスにトライしたこともあります。

紆余曲折を経て「b.glen」を始めることになったのは、03年にブライアン・C・ケラー博士と出会ったことがきっかけでした。当時、彼は「ドラッグ・デリバリー・システム」という浸透テクノロジー（皮膚から製剤を浸透させる技術）で薬剤の開発をしていたのですが、その後しばらくして彼から連絡がきて、「ドラッグ・デリバリー・システム」を使ってビタミン・セラムを作ったというのです。彼と会って話を聞いて「これは大きなビジネスになる」と直感した僕が、自分に販売を任せてくれるよう頼んだのがb.glenのスタートです。そし

て、04年くらいから日本でこのビタミン・セラムの販売を始め、日米を頻繁に行き来するようになりました。

—「b.glen」どのようにして大きく成長したのでしょうか。

「b.glen」は、「女性の肌の悩みを解決するソリューション・プロバイダー」として主に日本で成長していったのですが、そのきっかけは事業を始めてすぐ、当時7歳だった息子がてんかん発作を起こすようになったこと。入退院を繰り返す息子と過ごす中、「この子がいると僕は日本に出張に行けない。アメリカにいながら日本でビジネスができる体制にしないか」という思いでeコマースを始めました。

最初は「mixi」（趣味、興味をユーザー同士でシェアするSNS）でのコミュニティ作りから始めました。女性がどのような肌の悩みを持っているかを知らなくては、それを解決するソリューションの開発も、売ることもできないと考えたからです。「セレブの美肌法」というコミュニティを作ると、すぐに多くの女性たちが悩みを共有してくれるようになりました。そして、それに対する解決法を調べて回答するというのを続けるうちに、僕は美容のカリスマ的存在になっていったん

(左) ニューヨーク駐在時代の児玉さん(右) オレンジ・カウンティのビーチ・シティ、ハンテントン・ビーチのオフィスビル内にある米国本社



です。そして、「mixi」でつながった女性たちに自社製品を薦めると同時に、女性のさまざまな肌の悩みを商品に落とし込んでラインナップを増やしていくことで、多くの人に喜んで頂けるブランドへと成長していきました。あわせて検索エンジンと連動した広告に予算を割き、ECサイトに多くのお客様を誘導することで、売上を上げていきました。ちなみに、「b.glen」は、世界各地のカスタマー・サービスを24時間365日稼働させています。これは「いつでもあなたのそばにいる」というメッセージで、早朝でも深夜でも世界中どこにいても、スキンケアに悩む女性に寄り添っています。

——約20年の間、苦労や挫折はなかったのでしょうか。

2019年、売上が90億円に達して「さあ、100億行くぞ!」となったころ、売上が止まる感覚がありました。そこで香港、中国、シンガポール、フランス、そして台湾など、海外進出に次々とトライしましたが、シンガポールとフランスは3年で撤退。特にフランスは、最後まで現地の女性の肌の悩みをつかめませんでした。現在は中国、台湾、香港、日本とアメリカの5拠点で、美容医療の領域を拡大しています。

この時代に本社を米国に置いていることは、人件費負担が増え、厳しい面もあります。ただ私には、20年以上一緒に働いてくれている家族のような社員がたくさんいます。自分は長男で、やはりみんなを引っ張っていきたいという「お兄ちゃん気質」があるようで、円安は厳しいですが「こんな時もあるよね」という気持ちでいます。

——人生のターニングポイントを挙げるとしたら?

何か大きな外的要因があったというよりは、人生が好転する時にはいつも大事な「出会い」がありました。「b.glen」も、ケラー博士との出会いがきっかけで始まりましたが、その前にもインターネットやバイオとの出会い、ピンチの時にたびたび訪れる出会いに助けられてきました。それは偶然ではありましたが、そういう出会いとい

うのは自分自身のエネルギー・レベルが高い時に訪れるという感覚があります。自分の熱量が高いと、人を引きつけやすくなり、意味のある出会いが増えるということなのかもしれません。自分は常にエネルギーを高めていたいと思いますし、極論ですが中身がなくともテンションが高だけで「何かやってくれそう」と興味を持ってもらえることすらあり、それで良いと思っています。

——最近では「ChatGPT」との出会いもありますね。

「ChatGPT」からは、iPhone以上の衝撃を受けました。誰にとっても大逆転のチャンスです。肉体は弱っていくけれど、脳は「ChatGPT」の力を借りて進化していく。数年後にはもう追いつけないところまで行ってしまうのではないかと思います。使いこなせるようになっていなくてはなりません。

新しいテクノロジーとの出会いや時代の変化があった時、それに乗るか乗らないかは個人の選択で、「ChatGPT」を「使わない」という選択もあります。でもその選択肢は、使いこなせるようになってからでも選べます。「ChatGPT」が誕生した時、私の会社では1日7時間のセミナーを4~5日間実施し、社員に「とりあえず使っておくように」と繰り返し伝えました。

——児玉さんの成功の秘訣とは?

基本的には「失敗には理由があるが、成功に理由はない」と考えています。ただ、インスピレーションを大切に行動するようにはしています。それは、コピー機のセールスマンだった時代に培った感覚かもしれません。営業には分かりやすい成功と失敗があるので、成功体験や失敗体験を重ねることで、どんな時に成功するかという感覚を体得したのだと思います。

私は、自分の人生に対して貪欲なので、成功しても「この辺でいいや」とは思いません。失敗して落ち込むこともほとんどありません。そんなのもったいないし、落ち込んでいる間にも新しいことを思いつき、行動してしまう性格です。でも、ま

ずは自分が「行動させてもらえる環境」にあることが恵まれていると感謝しています。

——今後はどのような展開を?

ビジネスの一線で動けるのが、あと10年なのか30年なのかは分かりませんが、歳を重ねて「次の世代に何かを継承したい」と考えるようになりました。人生の先輩として自分のしてきたことを後輩たちに伝えたいというより、どちらかというと自分より一回りも二回りも若い世代の仲間に入れてもらい、同じ目線で何か新しいことをしたいというイメージです。

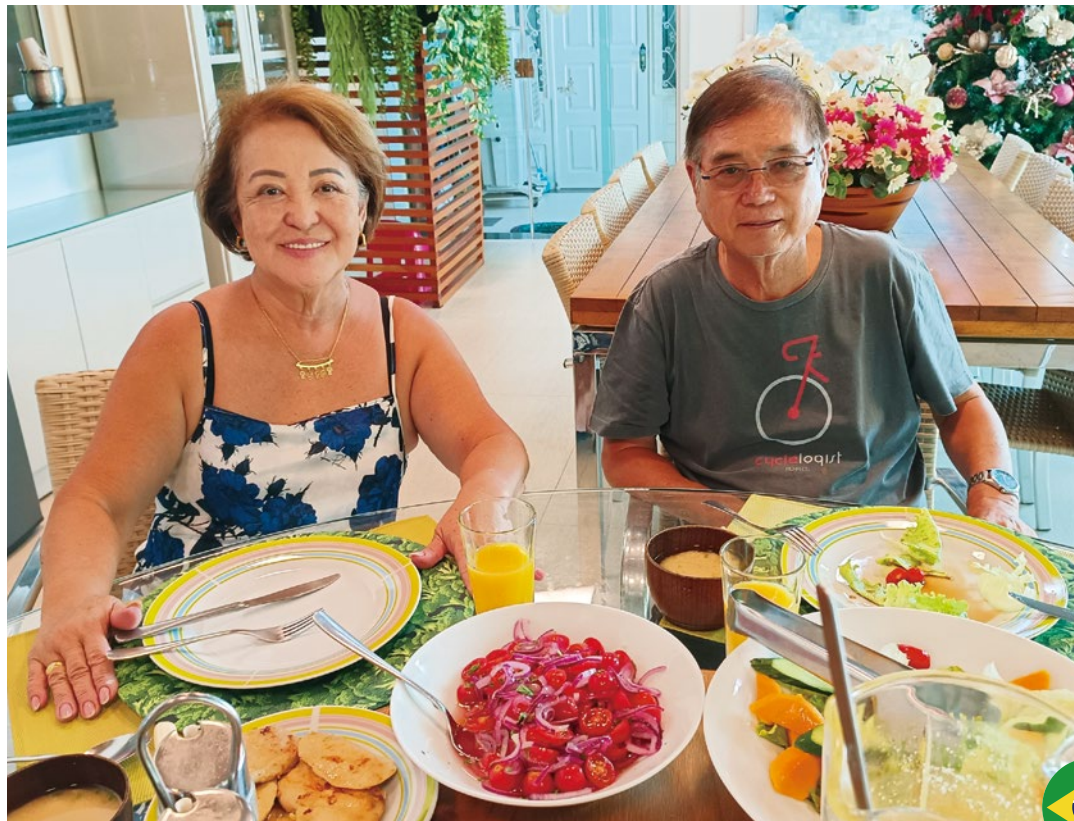
現在、化粧品ビジネスである程度の成果を得ていますが、欲張ればまだまだ何かがあるのではないかとワクワクします。これからの「ChatGPT」のような新しいテクノロジーとの出会いや、若い世代との出会いがあるかもしれません。「ハッピーなモーメントを届ける」ことをモットーにしているので、そのツールが化粧品でなくても、誰かに別の形で届けることは続けていきたいです。

Akira Kodama◎東京都出身。大学生のころからアメリカ生活を夢見て、卒業後は駐在のチャンス求めてキヤノン販売に就職。1989年に念願かない駐在員としてニューヨークに赴任する。3年後にはカリフォルニアへ転勤となり、社会人の傍ら自身のビジネスを始める。輸出入やバイオ・ビジネスを経て、2005年に女性の肌の悩みを解決するスキンケアブランド「b.glen」を創業。以来、海外展開やサロン開設、美容医療領域の拡大など精力的に活動している。

<https://www.bglen.us/>



洗顔料、保湿ローション、美容液を組み合わせた大人気のセット



山田勇次さん(右)と妻のユミさん

ブラジルでバナナの灌漑農法に成功！
熱帯の農業大国で国内トップの
生産者に上り詰めたバナナ王。



Brasnica Frutas Tropicais会長

山田 勇次さん

「温かい北海道」のような景色の広がる、ブラジル南東部内陸地帯のミナスジェライス州ジャナウーバ市を拠点に、ブラジル農業界で躍進を続ける道産子の山田勇次さん。1988年に創業したプラスニカ社は、ブラジルのバナナ・ビジネスで群を抜いてトップに輝き、2023年の売り上げは8億レアル(243億円)、来年度は10億レアル(304億円)に達する見込みだ。演歌が好きで、18歳の時に知り合った妻ユミさんや家族、友人、社員、消費者全ての喜ぶ顔を見るのがうれしいというバナナ王の素顔に迫った。取材：大浦智子『ブラジル日報』

—ブラジルに渡ったきっかけは？

両親は音更町の8町歩の土地で農牧業を営み、子育てを含めて辛い労働を全て母が取り仕切っていました。ところが父は母につらく当たり、それを見て夜、布団をかぶって1人声を殺して泣く日もありました。ある時、ブラジルから一時帰国していた老翁が、「ブラジルは冬がなく、広大な土地でバナナがいくらでも食べられる。学校に行っても行かなくても自由」などと話すのを聞いて「母を楽にさせられる」と思い、私は12人きょうだいの11番目でしたが、父にブラジルへ行くことを説得しました。当時はブラジルに行ったら二度と帰ってこれないと思われ、母方の祖父は悲しさのあまり駅への見送りに姿を見せませんでした。

—ブラジルに来て最初は何を？

父は郷里の土地を売ってレジストロ(ブラジル南東部サンパウロ州海岸地帯)に土地を購入しました。お茶づくりが盛んな土地で、茶摘みをしたり、野菜を植えたりしていましたが、ブラジルに来て2年で父が亡くなりました。5歳上の兄とアポブリーニャ(ズッキーニ)を植え、夜中も懸命に

働き、出荷が終わると利益が出て、数年でコンビ(ブラジルで商用車として広く親しまれているフォルクスワーゲンのバン)も買えて独立資金もできました。農業を吸い込んで肝臓を傷め、食欲もなく歩くのもつらい時期がありましたが、そのことがきっかけで仕事を人に頼むことを覚えました。

20歳の時、夢だったバナナ栽培を始めるための資金作りと生活のためにサツマイモを植え、それまで販売の経験はありませんでしたが、店に客として訪ねて世間話をしながら商談に入る兄のやり方を真似すると、商売も上手くいくようになりました。当時はバナナの市場の供給量が少なく高い値段で売れ、その売上げを基に野菜も植え、作業員100人を動員して毎日トラック1台を出荷するようになりました。

—マラクジャ栽培でも成功されたそうですね。

1980年に雑草だらけの広い土地を見つけ、何の計画もなく「植えてみたい」とインスピレーションを得ました。土地の所有者は、戦時中にリトアニアで杉原千畝領事がビザを発行してユダヤ人を助けた話を好きなポーランド人で、無料で土地を貸してくれました。その20ヘクタールの土地は何

十年も放置されたカチンゲーラ(有刺低木地帯)で、通常は火をつけて雑草を焼き払いますが、その時は直感的にトラクターをかけただけでマラクジャ(パッションフルーツ)を植えてよく実りました。当時、ブラジルではマラクジャを飲む習慣はなく売れなかったのですが、知人から聞いた2社のジュース会社に電話をすると、フロリダで大霜が降りてマラクジャが不足しているとのことで競って買いに来て、値段が日を追って倍に高騰しました。今思えば、あの土地は長年の栄養がたまっていたので無肥料無農薬でおいしい果実が実り、ジュース会社にも気に入られたのです。4年間のマラクジャ栽培での成功が知れ渡り、周囲も植え始めたので「自分はもうしない」と言いました。

—ジャナウーバで灌漑農法によるバナナ栽培を始めたきっかけは？

レジストロの景色は起伏に富んでおり、(遠くまで見渡しにくい)ため日本で老翁から聞いた「地平線の見える広々としたブラジル」へのあこがれがいつもありました。また、レジストロは大雨の降る土地で、83年には大水害があり、バナナ栽培を続けるのは心配でした。

1600キロ離れたレジストロとジャナウーパでは、入道雲を見た時、「醜い」「美しい」と全く正反対の反応を示します。人づてに聞いたジャナウーパへ視察に行くと、同地ではバナナの成長に必要な雨量は自然にはありませんが、既に農業プロジェクトが進められて貯水池などは設置されており、灌漑農法で試験栽培された見事なバナナが実っており、「ここで成功できる」と確信しました。

—現在の事業が拡大することになったきっかけは？

ブラジルで水をやってバナナを生産・販売するのは私が初めてでした。当時、ジャナウーパはあまり知られておらず周囲にも心配されましたが、水さえ用意すれば逆に霜害も水害もなく、土壌の成分も好条件、流通拠点としても最適でした。84年にバナナ・ナニカを植え、次にバナナ・プラッタを少し植えてみたところ、黒ずんだ染みのない真っ黄色な果実が実り、すぐに高品質のバナナが全伯に知れ渡りました。

購入した土地の40ヘクタールでバナナ栽培をスタートさせると、それまでの実績を見て、銀行からバナナ栽培に融資したいと声を掛けられました。ブラジルで銀行がバナナ園にお金を貸すのも初めての事でした。8年払いで設備投資のために資金を借り入れ、「ここが自分の終生の住みかとなる」と覚悟を決めました。

94年にはトラック1台出荷すると、新車1台買えるほどの価格になりました。現在はミナスジェライス州、ゴイアス州、トカンチンス州にある18カ所2500ヘクタールの農場の内、2000ヘクタールでバナナ、500ヘクタールでパパイヤ、パッションフルーツ、ライムなどを栽培しています。88年には収穫したフルーツは自分で販売したいと思い、Dosanko Frutas Tropicais社を設立して販売店をオープン、今は300台のトラックで流通も行っています。

—ジャナウーパ市長に当選した時のことを教えてください。

以前から市長選に立候補するように声を掛けられていましたが、断り続けていました。それでも2011年に立候補して、最初の世論調査ではかつて自分が応援していた現職市長の支持率が25%、私はたった2%でした。やると決めたら、妻が率先して選挙運動に参戦してくれて、町中で多くの女性支持者を集めてくれました。また、人口約7万人のジャナウーパに約1000人の従業員がいたため、そのネットワークも選挙戦では有利に働いたと思います。

—苦労や印象深い思い出は？

私がブラジル行きを説得した父が渡伯2年で亡くなり、自責の念にさいなまれました。18歳年上の兄とも上手くいかず23歳まで悶々とし、胸



ブラスニカ社のバナナ園とトラック

中を聞いてもらうために母と日本にいた姉のところにきました。郷里は10年で大きく発展し、父が売った土地の近所の人から、「運が悪い時に出て行ったね。今なら何億で土地が売れたのに」と言われ、父に申し訳なく思い、「親父が損した分を取り返す」とブラジルで生きる目的を決意しました。

—現在力を入れていること、今後の展望は？

オーガニックのバナナ栽培に力を入れています。肥料にキノコ栽培で使用する木のおがくずを使用するととてもおいしいバナナができます。また、販売店がリオデジャネイロの大手流通卸会社よりも成長することを目指しています。そのためにより高品質な作物を10種類は生産する必要があります。他にも農薬がなくても病気になる種類のないバナナを栽培し、低価格で供給するアイデアもあります。

社員にはブラスニカ社で働いていることを誇りに思ってもらえる工夫や、各部署で組織内を明るく風通し良くできるような人材の育成についても考えています。

—これまでを振り返り、今感じていることは？

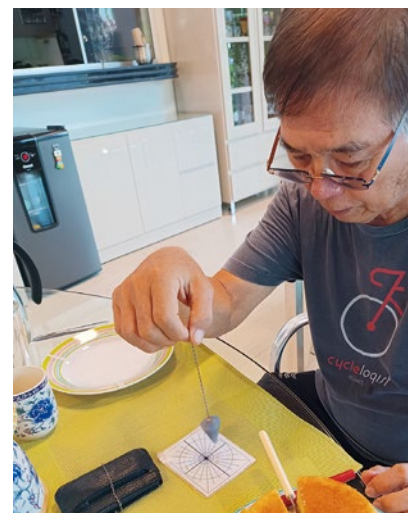
自分は運が良かったと思います。父が亡くなって懸命に働いていた時も、「君は働き者だから」と無料で土地を貸してくれる人がいたり、多くの人に助けられてきました。

17歳の時、米国のナポレオン・ヒルが書いた『巨富を築く13の条件』を読み、人間は思いでできているということに強く意識しました。96年にはサンパウロ市に盛和塾があると知り、稲盛和夫塾長のカセットテープや本に深く感動しました。全ての仕事をやる時は心を高めるのが大事だと思いますし、ブラジルの農業は値段の変動幅は大きく、「経営12カ条」の中にある「燃える闘魂」がなければやっていけません。修行の甲斐あって2004年、京都で開催された第12回全国大会で体験発表する栄誉を与えられ、全国約3500人の盛和塾生の中から最優秀賞まで頂きました。

「この土地にバナナを植えても良いか」「この食べ物も食べても良いか」など、私はペンデュラム（振り子）を使用して自分の潜在意識の声も聞くようにしています。そして、人生はやるだけのことをやれば伸びていけると信じています。

Yuji Yamada © 1947年、北海道音更町生まれ。60年に両親ときょうだいの9人でサンパウロ州レジストロ市に移住。13歳で農作物の生産・販売を始め、20歳で独立してバナナ栽培を始める。83年にミナスジェライス州ジャナウーパ市に移り、灌漑農法でバナナ生産を始め、88年にブラスニカ社を設立。現在、ブラジルの18カ所2500ヘクタールの農場でバナナや各種フルーツの生産、流通、全国10カ所での卸売を行う。従業員は2300人を超える。2012年から4年間ジャナウーパ市長も務めた。

<https://www.brasnica.com.br/>



(上) 灌漑農法で栽培されるバナナ園 (下) ペンデュラムで自分の潜在意識の声を聞く山田さん



アイデンティティの交錯
「カナダ人であり日本人で
あるということ」



BioRender設立者・CEO

シズカ・アオキさん

ジョンズ・ホプキンス大学の大学院やナショナル・ジオグラフィックでの長年の経験から、科学者向けのイラストレーション・ツールを国を超えて提供しているシズカ・アオキさんは、日本の文化や影響が起業に繋がった部分も大きいと話す。自身のアイデンティティについての話から、会社を立ち上げるまで、そして今後の夢について話を伺った。
取材：『TORJA』

—小さいころに日本からカナダに移住されたそうですね。

東京で生まれて、2歳の時にカナダに移住しました。幼かったのであまり日本での思い出はありません。とはいえ、いとこや祖父母、親戚に会いに頻繁に日本へ行く機会がありました。小さいころの一番好きな思い出といえば、やはり両親の経営するレストランでの時間ですね。両親はレストランでの仕事に全力で、いつも繁盛させようと頑張っていました。店を開いて37年近く経ちますが、コミュニティに愛されていると感じていますし、もはや地域のレガシーになっていると思っています。

—そのような両親から学んだことも多いのでしょうか。

父のビジネスと私のビジネス・モデルは完全に違うものですが、私が日々実践しているビジネスの基本は、製品づくり、勤勉さ、卓越した企業文化の構築に関する父のアドバイスにインスパイアされたものです。父とはよく、人との関係や商品の重要性について話しました。良い商品を持つということはビジネスで核の部分になるし、優れた商品と真の価値を顧客に提供することに集中することが最高の経営哲学であると教えても

らいました。

また、レストラン産業ではいつもお客様をどう喜ばせるか些細なことに気を遣って考える必要があると思いますが、それはソフトウェアの世界でも同じです。私の会社が200人規模になった今でも、ビジネスの根底にあるコアな部分は父がこれまでアドバイスしてくれたこととつながっていると感じています。

—日本社会で生まれ育ったご両親と、カナダで育ったシズカさん。感じ方や考え方に違いが生まれたことは？

面白いことに、両親は日本の影響もたくさん受けている一方で、カナダのカスタマー・サービスや文化に適応するのが上手でした。お客様全員に親切で英語もすぐ覚えていたし、そういった父の姿を見るのが私は好きでした。

そこから私自身が日本人としてのホスピタリティーやカスタマー・サービスについて学び、無意識かもしれませんが今の私のビジネス、クライアントとの接し方、チームをどう大切にするかという点にも生かされていると思っています。日本ではカスタマー・サービスを何よりも優先する雰囲気があると思いますが、私にもこの考え方が染み付いているのは間違いありません。

—起業について、ご両親の影響で子どものころから興味があったのですか。

小さいころから興味があったとは思いませんが、父はオーナ・シェフ、母は音楽家で自分の音楽スタジオを持っていて、家族は誰1人として一般的な9~5時という生活をしてきていません。だから、昔から仕事を見つけないといけないというプレッシャーはありませんでした。「起業」というのは、自分の道を見つけても良いということだと思っています。私はもともと薬か医者道に進むと思っていたのですが、メディカル・イラストレーションと出会いその道に進むことにしました。

—メディカル・イラストレーションとの出会いは？

高校生の時、私が科学をとっても好きなことを知っている芸術の先生に、科学と美術を組み合わせるとどんな仕事ができるのかということ質問したことがありました。

そこで先生に教えてもらったのが「メディカル・イラストレーション」です。それまで知らなかったものだったので、これこそまさに私がやりたいことだ!と思って、そのプログラムがあるアメリカのジョンズ・ホプキンス大学に手紙を送りました。

このプログラムに進むために計画を立てて、大学はクイーンズ大学でライフサイエンスとファ

インアートをダブル専攻し、2008年から2年間
ジョンズ・ホプキンス大学の修士プログラムに参加しました。

—「BioRender」設立のきっかけは何ですか。

大学院卒業後にナショナル・ジオグラフィック
でフリーランスとして8年以上働き、医療や科学
のイラストレーションについて多くのことを学び
ました。その後、最初はスタジオを立ち上げたの
ですが、科学者たちがいまだに自分たちの研究
をうまく伝えられずどれほど苦労しているかを目
の当たりにしました。更に科学の世界では伝え
方がバラバラだということを感じていました。

もし科学者が自分たちでイラストレーション
を作ることができるようなツールがあったらど
うかという話を友人にし、そこから2018年に
「BioRender」を始めることになりました。

当初は投資家や技術者のネットワークもある
ということで、サンフランシスコに行って会社を
始めることにし、「Y Combinator (シリコンバ
レーにある創業期のスタートアップを支援するプ
ログラム)」に参加して企業の組織の仕方を学ん
だりソフトウェアの専門家とつながったり大切な
ことを学ぶことができました。

—科学者たちのためにサイエンス・イラストレ ーションを提供されているのですよね。

サイエンス・コミュニケーション・ツール、サイエン
ス・ビジュアライゼーション・ツールとも言えますが、
私たちのチームがいわゆるアルファベットのような
ものを作り、科学者たちがそれらを自由に組み合
わせてビジュアルを作成できるようにしています。

実はそのアルファベットというのも、私がジャパ
ニーズ・カナディアンということもあって日本語か
ら大きなインスピレーションを受けています。日
本語は視覚的かつ絵画的な言語です。例えば「川」「森」「串」など視覚的にとても興味深
いです。私は科学やバイオロジーも同じように、
スタンダードでシンプルな誰もが理解できる「言
語」を持つべきだと思うんです。

顧客の中には日本の武田薬品やエーザイもい
ますが、英語や日本語という言葉ではなくて、バ
イオロジーの共通言語として私たちの商品（アル
ファベット）を使って頂いています。

—日本とカナダのバックグラウンドを持つ中 で、ご自身のアイデンティティーをどのように考え ていますか。

アイデンティティーについて聞かれたら、「ジャ
パニーズ・カナディアン」と答えるようにしていま
す。私が育ったオークビルは、当時はそこまで多
様性がある地域ではありませんでしたが、今と
なるとは自分の持つ日本のルーツにとっても誇りを
持っています。

食べ物や言葉でのつながりは今でも少なから
ず持っていますし、私の娘は英語よりも日本語を
多く話します。私のパートナーも日本語を学んで
いて、日本が私のアイデンティティーの中でとても
重要な一部になっているのを感じています。

—日系カナダ人として大変だったこともありま したか？

小さいころはありましたね。子どもというは
時に残酷なので、私が純粋なカナダ人ではない
という理由から少し差別を受けたこともありまし
た。今でこそ寿司や日本食レストランをいろい
ろな所で見掛ける時代になりましたが、私が子ども
のころのトロント近郊エリアではそんなことはあ
りませんでした。お弁当に寿司を持っていったこ
とがあるのですが、周りの人にはそれが変だと感
じていたようです。そういった経験から、少な
からず心に傷を負っていたと思います。

—日系カナダ人としてカナダでビジネスをする 中で大変なことはありますか。

特にありませんが、興味深いことにトロントの
起業家の中には私のように女性で日本人という
人はほとんどいないように思います。でもカリフォル
ニアに行った時、自分と同じような人たちがた
くさんいるのを見て、起業家として成功するた
めに特定の外見や人間になる必要はないんだと自
信を持つことができました。

—周りの人はシズカさんを女性や日本人として ではなく1人の人として見て感じていますか。

そう思いたいですが、その一方で女性起業家
や起業家になりたいと思っている女性からする
と、私は彼女たちの数歩先を行っているようで
刺激になると言われたことがありました。だか

ら、周りから女性としてそう見られている面があ
るという事実も無視したくないですし、それが
私を定義する必要もないと思っています。

—これから起業したい人に伝えたいメッセージ をお願いします。

どんなビジネスをするかにもよりますが、自分の
アイデアがしっかりしていてユニークな視点を持
っていること、そして何より自分が情熱を注げるこ
とを選ぶということが必要だと思っています。

ビジネスはそんなに楽しいことばかりでもなく
て、どんなに疲れていても毎日、何年間と同じこと
をやり続けなければなりません。起業家として苦
難もたくさんあると思いますが、それを乗り越える
ためにも自分が情熱を持てる何かを見つけて欲
しいです。そして、アイデアを自分の中に留めておく
のではなく、周りの人に話したり助けやアドバイ
スをもらうなども心掛けてみてはどうでしょうか。

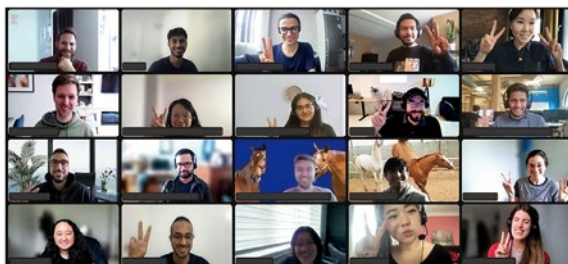
—シズカさんの夢を教えてください。

「BioRender」のミッションは、世界が科学を学
び、科学がもっとオープンなものになって誰もが
簡単に科学を理解できるようにすることです。現
在の科学の課題は、閉鎖的で理解し難いとい
う点にあります。科学をもっと親しみやすいもの
にすることで、変化をもたらすことができると信
じています。そして、このミッションに賛同してく
れた会社のチームのみんなが仕事にやりがいを感じ
られるようにしたいし、カナダのスタートアップの1つ
として他の起業家の良い見本にもなりたいです。

私生活の面では、もうすぐ第二子が生まれるタ
イミングということもあり、子どもたちのために良
い手本を示すことも1つの目標です。子どもたち
がしっかり科学を学べるような世界を作れたら
良いなと思います。

Shiz Aoki©1984年東京都生まれ。2歳の時に家族でカ
ナダへ移住し、オークビルで幼少期を過ごす。2008年から
ジョンズ・ホプキンス大学医学部でメディカル・イラストレ
ーションを学び（修士）、ナショナル・ジオグラフィック誌で
はサイエンス・イラストレーション業務に注力。グラフィック
会社「Anatomize Studios」を設立後の18年、友人らと
「BioRender」（別名：科学のためのAdobe）を起業。科学
者たちが自分でサイエンス・イラストレーションを作成できるア
プリケーションを提供し、世界中にサービスを展開している。

<https://www.biorender.com/>



（上）メンバーとのオンライン・
ミーティングの様子（右）メンバー
と仕事中のシズカさん



読書好き
集まれ!



協力：オーストラリア紀伊国屋書店
(Level 2, The Galleries, 500 George St., Sydney)

本好きにとって、トレンドに取り残されてしまうのはつらいところ。本連載では、シドニーCBDに店を構え、KINOと親しまれるオーストラリア紀伊国屋書店協力の下、トレンド・キーワードと共に読み逃さない話題の3冊と、日本のトレンドをキャッチするための最新ランキングをご紹介します。

3月、4月に入り徐々に肌寒くなってきた今日このごろ、皆さんいかがお過ごしでしょうか？ 今回紹介したい本は、2003年から始まった「キノベス！」というお薦めベスト30のランキングの中から年末に発表された上位3位に選ばれた本で

す。「キノベス！」とは、過去1年間に出版された新刊(文庫化タイトル除く)を対象に、紀伊国屋書店スタッフが「自分で読んでみて本当に面白い、ぜひ読んで欲しい本を選び、お客様にお薦めしよう」という企画です。

今、売れている本は？

👑ベストセラー・ランキング (2024年1月6～12日)

■文庫ベストセラー

1	恋か隠居か新・酔いどれ小藤次 (26)	佐伯泰英	文藝春秋
2	ある閉ざされた雪の山荘で	東野圭吾	講談社
3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	汐見夏衛	スターツ出版
4	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東野圭吾	光文社
5	君たちはどう生きるか	吉野源三郎	岩波書店

■新書ベストセラー

1	話す力 心をつかむ44のヒント	阿川佐和子	文藝春秋
2	世界のニュースを日本人は何も知らない 5	谷本真由美	ワニブックス
3	大常識	百田尚樹	新潮社
4	日本史を暴く戦国の怪物から幕末の闇まで	磯田道史	中央公論新社
5	紫式部と藤原道長	倉本一宏	講談社



読書の秋にホラーはいかがでしょう？ キノベスの中から私をご紹介しますのは、第8位の背筋『近畿地方のある場所について』(KADOKAWA)です。フィクションとは全く思えないようなモキュメンタリー・ホラー。行方不明のホラー雑誌の編集者を追いかけて、彼の書いた記事を追っていきます。各記事の断片が1つにつながった時に、私の身に迫ってくる恐怖は圧巻のひとつでした。都市伝説が好きな人にお薦めです。

ランキングからPick up!

ある閉ざされた雪の山荘で
東野圭吾 / 講談社



早春の乗鞍高原のペンションに集まったのはオーディションに合格した男女7人。これから舞台稽古が始まる。豪雪に襲われ孤立した山荘での殺人劇だ。だが、1人また1人と現実仲間が消えていくにつれ、彼らの間に疑惑が生まれた。はたしてこれは本当に芝居なのか？ 劇中の殺人は真実か？ 1度限りの大トリック、驚愕の終幕が待っている。

今週のトレンド・キーワード「キノベス!2024」

発売前から超話題沸騰! 圧巻のデビュー作

成瀬は天下を取りにいく
宮島未奈

新潮社 (価格: A\$39.00 < 会員価格: A\$35.10 >)



2020年、中2の夏休みの始まりに、幼なじみの成瀬あかりがまた変なことを言い出した。コロナ禍に閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るといのだが……。M-1に挑戦したかと思えば、自身の髪で長期実験に取り組み、市民憲章は暗記して全うする。今日も全力で我が道を突き進む成瀬から、きっと誰もが目を離せない。

圧巻のクライム・サスペンス

黄色い家
川上未映子

中央公論新社 (価格: A\$46.61 < 会員価格: A\$41.95 >)



17歳の夏、親元を出て「黄色い家」に集った少女たち。まっとうに稼ぐすべを持たない彼女たちは、必死に働くがその金は無情にも奪われ、生きていくためによりリスクなシノギに手を染める。危ういバランスで成り立っていた共同生活は、ある女性の死をきっかけに瓦解してしまう……。人はなぜ罪を犯すのか――。

誰かに親切にしなければ、人生は長く退屈

水車小屋のネネ
津村記久子

毎日新聞出版 (価格: A\$44.35 < 会員価格: A\$39.91 >)



「家出ようと思うんだけど、一緒に来る？」――。身勝手な親から逃れ、姉妹で生きることを決めた理佐と律。18歳と8歳の姉妹がたどり着いた町で出会った、しゃべる鳥、ネネ。ネネのいる水車小屋で番人として働き始める青年、聡。水車小屋に現れた中学生、研司。人びとが織りなす希望と再生の物語とは。

「時流を読む」重要性

豪州不動産の評価は徐々に高まっていますが、実際に購入したい場合には、どのような点に気を付けたら良いのでしょうか。今回は「時流」について考えてみたいと思います。

現在の時流を過去と照らし合わせて考察する

コロナ禍前と後で大きく様変わりした一般社会。もちろん不動産業界も例外ではありません。ざっくりとその特徴を挙げると「土地」価格が値上がりし、需要のあるエリアでの戸建住宅が急激に上がり、その影響は地方にも及びました。特に海岸エリアで人気のある都市は、その他の地域よりも著しい値上がりを見せた場所もありました。そのころ、若年層の海外からの流入が一時減ったことで都心部の賃貸市場が一時的に冷え込みました。

一昨年の国境開放から急激な国内流入者が増え、経済復興と共に「賃貸市場」が切迫。空室率は昨年9月より1%前後と賃貸物件を探すのも大変で、賃貸物件を見学するための週に一度行われる内覧会に長い列ができてしまうなど、住宅不足は顕著となりました。2023年の賃貸の値上げが全豪で週77ドルという統計もあるほどです。

なぜ、ここまで賃貸不足に悩まされる人びとが存在するかというと、コロナ禍後の法定金利上昇で「買い渋り」状態が始まったことにあります。豪州政府は、コロナ禍の際に経済支援のため法定金利を極端に下げました。その後の経済復興と共に利上げを始めたわけですが、一般人は当時の低い金利を覚えており、報道影響もあり高金利なので「買い渋り」の傾向が増し賃貸の需要を更に緊迫させました。そのため、一部では値下げを意識する物件群もあったほどです。

今後に関しては、国際的な部材の値上がり、土地の値上がり、人件費の値上がりという「3つの値上がり」から工事費用の上騰がどうしても避けられないことにより、上昇するという説があります。

また、その他の予測として、そろそろ金利上昇が収まるもしくは「買い渋り」が加速して、物件価格は下がるという正反対の予測を掲げる報道さえあります。それでは、豪州不動産市場は混迷しているのでしょうか。時代を俯瞰して考察して

みましょう。

住宅サイクルを念頭において今の時流を読む

「住宅サイクル」とは、オーストラリアの不動産市場のみで使われている言葉ではなく、むしろどの市場にも当てはまるコンセプトになっています。時計を思い浮かべてください。12時を示す際は最も時計の針が上を向いている、つまり市場がホットで値上がりが激しい状況を指します。この時期、人びとは「今買わなくては」と購入を急ぎます。それが2時、3時と右下に向かうにつれて、流行りは少しずつつまり価格も下降傾向となります。その後4～6時に向かい時計の針は下方に向かいます。6時は最も低い底値となります。どんどん価格が4～6時まで下がっていくのです。そして7～9時に再び回復し、10時からは急上昇でブーム期に突入します。

このように一定の周期で不動産価格の循環は、経済や人口増加、その他の要素に影響されながら移行していきます。賢い購入者の方々であれば、6時の底値時期に購入し、12時の最も市場が活況時期に売却するという一番良い方法を取るのですが、むしろ群衆はその逆を行ってしまう傾向にあります。

上記で説明したことは、時勢を読むために大切な要点となります。豪州不動産の場合、日本のようにガクッと市場が冷え価格が落ちるのは、その他の社会様相からむしろ6時の時点で「横ばい」を続けることが多いと、過去を振り返って客観視できると思います。

不動産業界における物件価と賃貸家賃上昇の時差とは

更に、物件価格が上がった後に一般的に家賃の値上がりが始まります。実際に土地の価値が高まり、価格が上昇するとその分シティー・カウンスル費も上昇するため、その分家賃に跳ね返ってきます。つまり、そこには「時差」があり、物件

上昇の後に家賃が上がるという傾向があります。

「物件価格が上がったから賃貸住宅に暮らし続けて良かった」と思っていたら、その後に家賃が大幅に値上がり、悲鳴を上げるといった状況に陥るのは仕方がないと言えます。

現在は、いったんコロナ禍で減った都市の住人が急激に増えている時期と言えますが、まだ集合住宅が本格的な値上りを記録していない都市もあります。本来、時期・立地・住宅形態（戸建・集合住宅の別）などを選択することが最も考慮すべき点になると言えるのですが、時代を俯瞰し最も良い物件を選ぶためには、冷静にならないとなかなか実現しにくいのではないかと思います。

現状特有の都市間の時差

他の「時差」として、各都市のコロナ禍後の経済の立ち直りの時差を上げることができます。国際空港からの国内流入やロックダウンがなかったエリアで価格が急騰するなど都市間の差がまだ顕著です。

例えば、日本人も多いゴールドコーストでは富裕層、そしてビザに有利になることから外国人が流入し、物件価格は高騰気味なのに対して、大学が多く人口増加や都市拡大が激しいにも関わらず賃貸市場は過熱、物件価格は横ばい気味のメルボルン。戸建住宅の上昇に対してまだ集合住宅の急激な値上がりには至っていないシドニーなど、市場を俯瞰すると同一ではないことが見て取れます。

自宅・投資目的であってもこのような特徴を理解して専門家に相談し、賢明な判断をされることをお勧めします。



鶴美枝

グローバル・インテリジェンス・マネージメント代表。創業2010年以来、豪州各地の優良不動産を厳選し、豪州及び日本在住のホーム・オーナー若しくは投資家の方々の購入をサポートし資産増幅、理想の住まいの確保に日々尽力中。日本と豪州にて法学部大学院卒業。豪州不動産フル・ライセンス保持



豪州不動産ならGIM 豊富な在庫と手厚いサポート

将来に向けて夢のマイホーム、資産形成を
じっくりGIMと考えてみませんか？

グローバル インテリジェンス マネージメント / GIM キャピタル プロフェッショナル株式会社
GIM代表 鶴美枝

本社住所: 313/3, Spring St, Sydney NSW 2000
ノースドニー支社: 100 Walker St, North Sydney NSW 2060
連絡先: 英語総合 02-9235-2908 日本語直通 0421-458-081
E-mail: info@gimmanagement.com.au
Web: https://gimmanagement.com.au - お気軽にご相談ください -

皆様のお陰で
14周年

GIM

第94回 法律用語は役に立つ?

最も語彙の多い言語は何語だと思いますか? 答えは英語です。オックスフォード英語辞典には、現在使用されている英単語が約17万語記録されており、“Covid”や“Bitcoin”のように、ほぼ毎日新しい単語が生まれています。

「法律用語」は英語で“Legalese”と呼ばれ、有用な機能があります。例えば、弁護士が契約書ドラフトを作成中、別の弁護士がそれを読んだとしても、文書内容が明瞭かつ正確に伝わります。では、弁護士がクライアント向けに作る文書はどうでしょうか。

優秀な弁護士は、法律用語(同僚弁護士や裁判所との間で使用する)と平易な言語の使用の切り替えが上手です。法律に詳しくない人、特にクライアント向けには、法律用語の使用を控え、分かりやすい言葉を使います。

特定の概念を簡潔に捉えた法律用語とその意味(例):

- ・Ademption: 遺言で贈与されたものがもはや存在しないため、贈与を行うことができない
- ・Adjourned sine die: 裁判の次の期日が決まっていない
- ・Arraignment: 法廷で罪状の詳細が読み上げられ、被告人が有罪を主張するか無罪を主張するかを問われる手続き

マッコリー辞書の2023年の流行語大賞“Cozzie Livs”は、「コスト・オブ・リビング(生活費)」の略です。この選出は、伝統的な英語が失われていくことへの失望感からか、多くの議論を呼びました。しかし、言語は堆積してきたものであり、そのデータバンクは時代の波によって変化します。

英語(法律用語も含める)が適切であるためには、その移り変わりが絶え間ないものでなければなりません。まだ発見されていない新しい言葉が、将来、私たちを待ち受けていることが想像できますね。

法律用語は、混乱を招くこともあります。法律文書の文章は非常に長いだけでなく、オーストラリアでは“ergo”や“de facto”など、しばしばラ

テン語が含まれます。そして何よりも、法律文書には“heretofore”“here herein”“forthwith”といった昔ながらの英単語が使われています。ケンブリッジ辞典が法律用語を「弁護士や法律文書で使われる、一般人には理解しにくい言葉」と定義しているのには納得できます。

法律文書の文体スタイルは、あいまいさをなくすることが目的、と言われたりもしますが、私を含む弁護士たちは、多くの状況において単純化が図れると考えています。

法律用語が特定の特徴を定義するのに役立つ例として「所有権」があります。所有物に対する法的権利を全て持っていないでも、所有者になることはできます。例えば、Aはパディントンにある土地の所有者であり、Bはその土地を通る通行権、Cはその他の地役権、Eはその土地の終身所有権を保有し、Dはその土地にあるパン屋を賃貸している、など。

法的権利の定義における言語の重要性を示すもう1つの例は、訴訟事件の和解条件の記録です。例えば、交通事故で負傷した私のクライアントの1人が、CTP保険会社から35万豪ドルの賠償金を受けることに同意したとします。事故後(から和解解決前まで)、クライアントは保険会社から治療費、理学療法費、薬代として3万豪ドルを負担してもらっていました。その場合、和解条件において、賠償金(35万豪ドル)が保険会社から既に支払われた費用を含むものなのか、含まないものなのかを明確にすることが非常に重要です。この2つのシナリオを比較すると、3万豪ドルの差が生じます(35万豪ドルの賠償金が、既に支払われた3万豪ドルを含むことを意図していた場合、私のクライアントは、和解時に32万豪ドルを受け取るだけ)。

法的権利の定義における言葉の力を示す例をもう1つ挙げましょう。2人の友人がブロード・ビーチの1室を一緒に購入したとします。一方が亡く




なったら、その人の持ち分はもう一方に渡るのでしょうか? 答えは、2人の共同所有の法的地位によって決まり、主に2つの選択肢があります。


- ・“Joint Tenancy”は、残った人が自動的に不動産の全所有権を保有します
- 一方で
- ・“Tenants in Common”は各自が所定の割合の不動産を所有する状態なので、死亡時に相続法を通じてその割合を譲り受けます

アメリカの弁護士にとって“Deposition”(証人の証言)や“Discovery”(証拠を集める活動)といった表現は典型的ですが(アメリカの法廷テレビ番組、例えば“Boston Legal”や“The Good Wife”)、オーストラリアでは法的手続きが異なるため、そのような表現は現在では使われていません。法律制度が違えば、法律用語も異なります。

最後に、言葉が情緒的な力を持つことを述べた、有名なアメリカの弁護士(で大統領になった)エイブラハム・リンカーンの言葉を引用します。「如才なことは、他人のことを、その人自身が思っている通りに表現してあげる能力のことである」。





ミッチェル・クラーク
MBA法律事務所共同経営者。QUIT法学部1989年卒。豪州弁護士として30年の経験を持つ。QLD州法律協会認定の賠償請求関連法スペシャリスト。豪州法に関する日本企業のリーガル・アドバイザーも務める。高等裁判所での勝訴経験があるなど、多くの日本人案件をサポート



50 YEARS YOUNG EST.1970

MBA 法律事務所 ジャパンリーガルサービス

人身傷害・賠償請求法のスペシャリスト

ミッチェル・クラーク
中瀬 恵子



オーストラリアで事故(交通事故や労災等)に遭い怪我をしてしまったら、
ビザに関係なく、まずはMBA法律事務所にご相談ください。

初回ご相談無料

日本語対応

「成功報酬制」+ 後払い

賠償請求に要する費用のお支払いは賠償金受領後、かつ賠償金額を超える自費負担のリスクがない「成功報酬制」を採用しています。1970年設立の当事務所は約半世紀に渡って信頼の厚いサービスを提供し続けています。事故案件の対応はパートナー弁護士のミッチェル・クラークが担当、日本語で承ります。人身傷害法の分野で最高レベルのスペシャリストとしてクィーンズランド州法律協会が認めた弁護士率いるチームが一丸となって不運にも被害に遭ってしまった方を全力でサポートします。

◇ 新オフィスに移転しました ◇
Robina Town Centre
Level 1, Shop 5003 Robina Town Centre
Robina QLD 4226
Tel: 07-5539-9688
Email: mbajapan@mba-lawyers.com.au
Web: www.mbalawyersjapan.com

豪州ビザ 最新事情



清水英樹

オーストラリアQLD州弁護士。在豪30年以上。地元大学卒業後、弁護士資格を取得。フェニックス・グループCEOとして傘下にあたる「フェニックス法律事務所」、ビザ移民コンサルティング「Goオーストラリア・ビザ・コンサルタント」、交通事故ならびに労災を専門に扱う「Injury & Accident Lawyers」を運営

豪州ビザよもやま話

2024年を迎え、日本では災害や事故で落ち着かない日々が続いています。被災者の方々が1日も早く普通の生活に戻ることを心よりお祈り申し上げます。今回はよもやま話です。

【その1】サブクラス482ビザ、ついに……

昨年年初旬来、変更があると発表されていたサブクラス482ビザですが、11月にこっそりと発表されました。

- ・短期職種ストリーム：2023年11月25日以降、これまで2度の申請しか認められていなかった短期職種ストリームでの申請が無制限に行えることになりました。
- ・サブクラス186（または187）永住権への移行：これまで中長期職種リスト（または地方限定職種リスト）内の職種からでなければ永住権への移行ができませんでしたが、23年11月25日以降、短期職種リストの職種であっても永住権への申請が可能になりました。更に、これまで永住権への移行申請には482ビザで3年の就労期間が必要でしたが、2年間に短縮されました。

【その2】学生ビザの厳格化？

こちらのニュースも昨年末メディアでも取り

上げられましたが、アルバニー首相が現行の移民システムの不備を訴え、現在の移民数を制限する方向で検討していると発表しました。その中で、特に今後、学生ビザの申請者に対して必要な英語能力の厳格化を課すると言っております。学生ビザを用いての長期滞在に歯止めをかけようという意図のようです。

その反面、オーストラリアが欲する高いスキルを持つ人材に対しては短期間でビザ取得がかなうよう特別なビザを発行することも検討するようです。学生ビザの目的としては、海外からオーストラリアに学生を迎え入れ、オーストラリア第2位の輸出産業である教育産業を通じて英語ならびに文化、スキルを学んでもらうという前提でしたが、これからは学生ビザの発給も国策として国にプラスになる人材に発給するという方向にシフトしようとしているようです。

【その3】サブクラス309&820（パートナー・ビザ）

これまで、サブクラス309（国外申請）とサブクラス820（国内申請）のそれぞれのパートナー・ビザは、ビザ発給時に申請時同様国内外にいる必要がありましたが、23年11月25日以降、オーストラリア国内外どちらにいてもビザの発給が受けられるようになりました。



PHOENIX

LAW & ASSOCIATES フェニックス法律事務所

在豪歴30年以上の信頼と実績

個人並びに法人の様々なニーズに専門家が対応いたします。



取り扱い案件例

- 商業案件各種
- 交通事故
- 傷害賠償手続き
- 労働災害
- ビジネス売買
- M&A案件
- 国際取引契約手続き
- 各種民事訴訟・裁判
- 家庭法（離婚・財産分与・親権）
- 遺言状・相続計画
- 雇用関連・不当解雇
- 各種ビザ、移住コンサルティング、AAT調停、市民権

みんなの将来の  聞かせて下さい!

クカバラ日本語学校

シドニーで日本語学習や、アクティビティーを行っている子どもたちに「将来の夢」を聞き記録を残していく企画。今回は、クカバラ日本語学校の国語コースの幼稚園部と小学部の児童15人に将来の夢をお寄せ頂きました!



- おいしゃさんになりたい。
- おまわりさんになりたい。
- ブリキユアになりたい。
- アイスクリームやささんになりたい。
- わたしはおとなになったらおいしゃさんになりたいです。
- アイスクリームやささんになりたい。
- サイエントリストになりたい。
- サッカーせん手になりたい。
- ゲームを作る人になりたい。
- ユーチューバーになりたい。

- ゼインまりは
なかいアヴェリン
うちださくら
たざわスカイ
きたむらゆの
たかのまや
ゼインゆすら
さいとうともたい
高野りり
田中こう

- ぼくは、絵をかくのが上手だから、絵をかく人になりたい。そして、うまい絵だね。と言われる絵をかきたい。
石田えいじろう
- Colesとスマイグルとコスメとおようふくの店員さんになりたいです。
内田あおい
- ぼくは、人のはってんにつながるかもしれないから、はっくつ家になりたい。新しいきょうりゅうを見つけて、かっこいい名前やおもしろい名前をつけてみたい。
石田じょうたろう
- ぼくは、将来動物や生き物に関わる仕事につきたいと思っています。
中野真秀
- プロ野球選手になりたい。
テンブルトン・ブライアン

4788SYDN

確かなバイリンガル力で世界に羽ばたく

日本人学級と国際学級を併設

Two curriculums. One school.

Japanese Curriculum
Y1-9

NSW Curriculum
K-Y6



JAPANESE INTERNATIONAL SCHOOL
シドニー日本人国際学校

オンライン学校説明会
3月7日(木) 英語
3月8日(金) 日本語

Scan me

プライベートツアー、
オンライン説明会のご予約はこちらから



編入学アプリケーション随時受付





興味があるもの何でもレポート!

帰ってきた BBKコラム

—子育てパパ奮闘編(?)—

主な登場人物



BBK (僕、40代半ば)



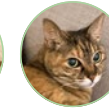
MEG (妻、年齢不詳)



カイト (兄、3歳半)



アリサ (妹、1歳10カ月)



アビー (雌猫、18歳位)

オーストラリア人スキー客争奪戦再開——「Mr. Kobayashi」奇譚

僕のお気に入り作品の1つに1995年にアメリカで公開された『ユー・ジュアル・サスペクツ』というサスペンス映画がある。あっと驚かされる展開、ラストの衝撃。張り巡らされた伏線を確認するため、人生で唯一、自らの意思で2度映画館に足を運んだ作品でもある。

同作には誰も正体を知らない伝説の犯罪者・カイザー・ソゼの代理人としてたびたび主人公たちの前に姿を現わす「Mr. Kobayashi」という謎の弁護士がいるのだからとにかく掴みどころがない。今回はそんな謎に満ちた「Mr. Kobayashi」の世界に囚われてしまった男の顛末を紹介したい。

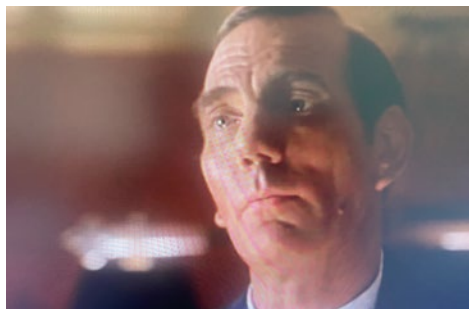
「白樺リゾート・池の平ホテル」

2023年、日本各地で海外インバウンド市場に向けたプロモーション活動が活性化する中、日本のスキーリゾートを紹介する英字スキー雑誌『jSnow』（日豪プレス発行）にも多くの相談が届いた。かくして僕は今年1月頭から2月上旬まで約1カ月、かつてないレベルの過密スケジュールで、北は北海道から西は岐阜県まで20に及ぶスキーリゾートへの取材行脚を断行することにした。

1月中旬には長野県・八ヶ岳エリアの新生リゾート・アライアンス「8Peaks」を訪れた。ファミリー層をコアターゲットに据えているため、今回は「家族丸ごとモルモットになって欲しい」という希望を汲み初の家族帯同。同エリアのハブとなる大型ホテル「白樺リゾート・池の平ホテル」（有名なCMの旋律を思い起こす方も多いただろう）に滞在し、完全リニューアルを果たした館内施設やテラーメイドのガイド・ツアーなどをモニターとして体験、フィードバックをさせて頂いた。施策の方向性はバッチリ、道を踏み誤らず、しっかりとプロモーションを行っていけば間違いなくオージー・ファミリー層にも打ってつけのリゾートに育つであろうと確信した（エリアの魅力など詳細は5月発行の『jSnow』に掲載）。

さて、「Mr. Kobayashi」である。

滞る3日目。僕らは託児所や、2歳から受け入れ可能なスキースクールなど、ファミリー層への対応に力を入れているスキー場「ブランシュ高山」を視察した。グレンデに到着すると、出迎えてくれたのは前夜、酒席を共にしたスキー場運営会社・部長の小林（和也）さん。



映画『ユー・ジュアル・サスペクツ』のMr. Kobayashi (キャプチャ)

「今朝は弊社代表をご紹介させていただきます」

「もちろんです」

「始めまして。代表の小林（和夫）と申します」

代表と部長の姓名が1文字違いであることに驚いていると「このあたりは、小林姓が多いんですよ」とのこと。

そこにちょうどグレンデ・パトロールの責任者が通り掛かる。

「始めまして。小林です」

君もか。

渋・湯田中、志賀高原、斑尾高原行脚

「8 Peaks」での5日間の取材を終えた僕は東京へ戻る家族と新幹線のホームで別れ、1人志賀高原方面へ向かった。泊まりは山の麓にある温泉郷、渋・湯田中の「一茶の小道、美湯の宿」。スノーモンキー至近の人気宿で、一茶とはもちろん小林さんである。

翌朝、スキー場として日本一の標高を誇る志賀高原・横手山へと送迎車で向かう。30分ほどかけてグレンデ麓に到着し、2日間にわたって撮影を引き受けてくださるモデルさんと落ち合う。

「小林です」

全日本ナショナル・デモンストレーターを二期務めたプロ・スキーヤー小林（仁）さん（山ノ内町会議員）がモデルを務めてくれたのだ。これ以上ない足前（腕前）の持ち主、さすが撮られるプロでもあり、期待していた以上の写真、ムービーを撮影することができ、初日を終えた。翌日も朝から雪山撮影のためこの日は志賀高原内のホテルに滞在。

翌日は撮影バーンを志賀高原中央エリアに移す。この日の撮影には同エリアを管轄する志賀高原リゾート開発株式会社の社長さんにも同行頂けることに。以前、お会いしたことがあるのだが、なぜだかパッと名前が出てこない。

「ご無沙汰しております。小林です」

そう、小林（卓也）さんだ。

誰と会っても小林さんという状況が連日続き、本来知っていたはずのオリジナル小林さんの名に確信を持ってなくなっていた自分に気付かされる。

2日目の雪上撮影を無事終え下山。再び「一茶の小道・美湯の宿」に宿泊。一茶である小林さんも愛した湯を堪能後、部屋に戻り、連日の取材先で出会った小林さんたちにそれぞれ御礼メッセージを送信した。

翌日は長野エリア取材行のいよいよ最終日だ。チェックアウト後、飯山駅まで送迎頂き、そこからは自身で手配したレンタカーに乗り換え、日本のスキー場公認ツリーランコース数を誇る斑尾高原へ向かった。

途中、担当者に到着時間を連絡しようとスマホを開く。テキストメッセージ、SNSメッセージにはずらりと小林さんたちとのやり取りが並んでいたが、肝心の斑尾高原担当者とのやり取りが見付か



「8Peaks」で人生初のスキーを楽しんだカイト



元全日本デモンストレーター・小林仁さんの華麗なる滑り

らない。そして、またしても担当の方のお名前を思い出せなくなっていることに気付いたのだ。

「もしかしら」との思いと共にメールアドレス一覧をキーワード「Madarao」でソート。そこに現れた担当者の名前は小林（翔）さんであった。本来であれば忘れるはずがない。だが連日続いた小林さんスパイラルにより、僕は誰が小林さんであり、誰が小林さんでないかが分からなくなってしまったのである。

人間の脳の記憶というのはかくも簡単に崩壊するものなのか。小林、小林……。呟くうち、ミステリアスな弁護士「Mr. Kobayashi」が薄笑いを浮かべている姿が脳裏に浮かんでくる。

「ようこそKobayashiワールドへ」

いかん、と思うが遅かった。その不気味なイメージは脳にしっかりと刻まれ二度と振り払うことが叶わなかった。僕は、今後新たな小林さんに出会うたび「Mr. Kobayashi」のイメージがフラッシュバックする呪縛にとらわれてしまったのである。世界に数多おられる小林さん、お会いする際は何か卒お手柔らかに。ある人気番組のタモさんのセリフがリフレインする。

「世にも奇妙な世界への扉はあなたのすぐ側に存在します」

皆様もゆめゆめお気をつけくださいませ。

馬場一哉 (BBK)

雑誌編集、ウェブ編集者などの経歴を経て2011年来豪。「Nichigo Press」編集長などの経歴を経て21年9月、同メディア・新運営会社「Nichigo Press Media Group」代表取締役社長に就任。バスケ、スキー、サーフィン、筋子を楽しむ、常にネタ探しに奔走する根っからの編集記者。趣味ダイエツト、特技リバウンド。料理、読書、晩酌好きのじい気質。ラーメンはスープから作る。二児の父



宮本敬子さん

KEIKO MIYAMOTO

日本貿易振興機構(ジェトロ) シドニー事務所
Jetro Sydney

ニックネーム: みやもっちゃん、けいちゃん
 世代: 幼少期セーラムーンに憧れた世代
 着任: 2020年11月
 出身: 東京都
 住まい: Sydney

業務内容: 日豪間の貿易投資促進、オープンイノベーションの促進

仕事内容: 日豪間でビジネスをしている/したい日・豪企業の相談対応、ビジネス・マッチングなど

趣味&休日: 旅行、おいしいご飯とお酒、ミュージカル鑑賞

特技: おいしいレストラン探し、バドミントン、断捨離

好きな言葉: 「情けは人のためならず」——どんな時も人に対する配慮や思いやり、礼儀を欠かさない人は、すてきな人生を送っていると思うから

おすすめの一冊: 『The Happiest Man on Earth』(Eddie Jaku) —— 「Life can be beautiful if you make it beautiful」という言葉に目が留まり購入。オーストラリアに関係している点も興味深かった

好きなレストラン: 「Bistecca」——隠れ家的な雰囲気×絶品ステーキですっかり虜に。どんなゲストをお連れしてもいつも喜んで頂ける

読者へのコメント: 「ご縁を大切に」日本にいたら出会えないような方々にお会いし、多様な価値観に触れられるのは海外ならではの!



次回はどなたにバトン?

Odakyu Australia Pty. Ltd.の安藤美智子(Michiko Ando)さん——いつも優しく、人望が厚く、尊敬してやまない先輩です。安藤さんなしのシドニーは考えられません!

column

学び

福島先生の
人生日々勉強



教育専門家: 福島摂子

教育相談及び、海外帰国子女指導を主に手掛ける。1992年来豪。社会に奉仕する創造的な人間を育てることを使命とした私塾『福島塾』を開き、シドニーを中心に指導を行う。2005年より拠点を日本へ移し、広く国内外の教育指導を行い、オーストラリア在住者への情報提供やカウンセリング指導も継続中

無自覚な賢者

もうこれ以上は頑張れない、と思うことがありますよね。自分の中に厄介なものを抱えていて、何とかして捨てたい、できれば初めからなかったことにしたいと思うほどの重圧。性格を変えようとしたり、過去を忘れようとしたり、周囲から認められようと必死に努力をしますが、うまくいかず、迎える限界。

しかし、それはきつと朗報です。限界まで苦しんだなら、その苦しみを経験した人間だからこそできることを発見するチャンスが巡ってきたに違いないからです。苦しみを糧にして新しい生き方へと変革するタイミングが来たというお知らせです。

過去に同じような経験をした人に会ったけれどその人は結局うまくいかなかったなど、自ら行く手を塞いでしまわないようにしましょう。苦しみとは、それぞれ固有のものであって、たとえ同じ経験をしたように見えても、誰1人として同じ条件で苦しんだ人はいません。そもそも生まれ育ってきた環境から違います。つまり、自分の経験してきた苦しみは、他の誰も手にすることのできない、この世でたった1人、自分だけが持つ貴重な価値ある経験なのです。

もし今、限界を感じ、人生を大きく転換したいと本気で思っているなら、自分自身の心の奥底

にある本心が、これまでの苦しい体験を生かすターニング・ポイントを逃すまいと、それは今ののだと、強く訴えかけているのかもしれませんが。誰かを救い、癒やすために自分の苦しみを生かすこと、そして、それによって自分自身も癒やされるのだということを改めて自覚する時が来たのです。

自分にしか経験できなかった苦しみの中を生き抜いてきたオリジナルの人生は、必ずどこかで誰かの役に立ちます。ひょっとするともう既に、自分が気付いていないだけで誰かの支えになっているかもしれません。誰もが特殊な才能や望む環境に恵まれているわけではないですが、何も突飛な役割を見つけようとする必要はありません。目指しているのは、自分だからこそ果たせる役割です。心配しなくても見つかります。本当は知っているからです。

人はおおよそ、矛盾した自分に苦しめられます。誉められたいのに努力が続き結果が出ない、干渉されたくないのに目立ちたがりである、せっかちなのに頑固で仕事が進まない、完璧主義なのに面倒くさがり結局仕上がらないなど、こうした矛盾に思い当たる人は皆、相当苦しんできたはず。苦しみが熟した先には当人しか知らない多くの智慧が渦巻いています。無自覚な賢者なのです。

おいしいもの食べ隊!

日豪プレススタッフがグルメ隊を発足。
メルボルンで見つけたおいしいものをご紹介します!

Vol.4

メルボルンのカフェで気になるスイーツを発見!

オレンジが
アクセントの濃厚
バスク・チーズケーキ



Ilza Japanese Cafe

Shop5, 353 Little Collins St.,
Melbourne VIC 3000
Instagram: @ilzacafe

Orange Basque Cheesecake



濃厚なピーナッツ・
バターとキャラメル
風味のバナナが絶品



Banana French Toast



Fuumi Fuumi

6c Daly St., South Yarra VIC 3141 /
263 Lorimer St., Port Melbourne VIC 3207
Instagram: @fuumifuumi

モナカのサクサク感と
餅パール入りの
アイスが相性抜群!

Monaka Ice Cream



Hareruya Pantry

15-17 Lincoln Square South, Carlton 3053 VIC
Instagram: @hareruyapantry



令和5年度、芸術文化活動機会促進事業（兵庫県）、ギャラリー北野坂（神戸市）で開催された兵庫県支部草月いけばな展「はな・わたしの原点」での展示作品の1つ

花のある生活 *—flower in life—*

多田玲秋
いけばな作家
Web: 7elements.me

異国情緒が漂う神戸のギャラリー北野坂で、いけばなの展覧会が行われました。斬新なデザインを有するコンクリート打ちっ放しのギャラリー内には、個性あふれる作品の数々が展示されていました。壁から枝を伸ばして森のようになった空間や、絵の具を水面に垂らし、偶然にできた模様を紙に写し取るマーブリングという技法を用いた芸術表現にトライしました。色彩豊かな紙を重ね合わせて、いけばなに組み込んだ合作なども夢のあるものでした。

私の作品は、柿の古木を組み合わせることでガラス越しのライトアップに映えるよう作りました。窓の向こう側にある風景や、作品の背景にはクロスされ

た太い鉄骨の線があり、既に存在する環境を考慮しつつデザインすることの難しさを感じた機会でもありました。

いけばなを学んでいた母は、いつも作品鑑賞に来てくれます。ちょっとした意見もなかなかのもので、それを聞くことで良いインスピレーションを得られます。母が私に伝えた印象的な言葉の中に「既にある空間を生かした作品は見応えがある」というものがあります。あるがままの環境で花を咲かせている自然界の植物にはかないませんが、どんな境遇にあっても自分らしく花を咲かせて欲しいという母心を感じました。

「私のいけばなの原点は何だったのだろうか」と

自分に問い掛けてみました。幼少期、母が習ういけばなレッスンについて、お稽古の邪魔にならないよう残った花材を集めて、自分流に小さな花をいけること。そこには何ものにもとられない心があって、やってみたいと思うことだけでした。

時を経て、花をいけて喜んで頂けることはとても幸せで、さまざまなシーンで花いけをさせてもらえることにも深く感謝しています。初めて出会う花材、花器、場所が三位一体となって、いけばなの作品が見応えあるものになるのなら、どんな環境でも花がいけられることを目標にやってみよう！与えられたことを大切に、余さず学びに変えていきたいと思っています。



抽象的な柄が特徴的な縮緬地の小紋

縮緬地の小紋



きもの日和

Styling vintage kimono
in Melbourne

Wardrobe: Ziguzagu Textiles (W: ziguzagutextiles.com)
Stylist: Sala Okabe (W: salaokabe.com)
Photographer: Rina Kakioka (W: rinasmilephotography.com)
Model: Nene (Saori Suzuki) (Instagram: @nene.hmu)

だんだんと秋の訪れを感じ、何を着ても楽しい季節となりました。今回ご紹介するのは、そんな時にぴったりの縮緬地の小紋です。

縮緬は、独特の光沢感と上品な風合いで知られる日本の伝統的な織物です。たて糸に撚りのない糸を、よこ糸にきょうねん糸を交互に用いて平織にし、精練仕上げをしてシボを作り出す特殊な技法で織られ、その名の通り、縮んだ表面に独特の柔らかさと光沢を持っているのが特徴です。

縮緬地の着物というと、古典的な美しさが頭に浮かびますが、今回はその伝統的な素材を用い

ながらも、新しい風を吹き込む伝統とモダンが融合した新しいスタイリングをご紹介します。

まず、ポップな柄の着物に大胆な柄やグラフィックを取り入れた帯をコーディネートすることで、現代的でエッジな印象を与え、伝統的な縮緬の美しさとポップな要素が見事に融合します。

今回はビビッドなイエローにシュルレアリスムの絵画のようなデザインが施された名古屋帯を使用しました。

また、半衿の色を変えたり、スカーフやアクセサリなどの小物をプラスしたりすることによって、

ファンキーなストリートの風景にも溶け込むようなスタイリングに仕上げることができます。

伝統的な生地でありながらも新しいファッションの可能性を広げていく、伝統と革新が共存する自分だけのユニークなコーディネートを楽しんでみてはいかがでしょうか。

Sala Okabe

着物の着付け、スタイリング、着物レンタル及び販売をする着物スタイリスト。インスタグラムなどで新しい着物スタイルの提案や海外で着物を楽しむアイデアを紹介している。Instagram: @kimono_salaokabe



NICHIGO PRESS

全国各州で絶賛配布中!

NICHIGO PRESS配布場所はウェブサイトをチェック。

オーストラリア全国のNICHIGO PRESS配布場所がウェブサイトで見つかる!

場所・店名住所など詳細も確認できる!

もちろん、スマートフォンからもアクセスできます。



配布設置に関するお問い合わせ: npsales@nichigo.com.au

©2023 NICHIGO

Chairperson	作野善教	Yoshinori Sakuno
CEO/Editor in Chief	馬場一哉	Kazuya Baba
Art Director	脇村淳子	Junko Wakimura
Editors	石井ゆり子	Yuriko Ishii
	原田 紘	Tadasu Harada
	ジョイ・ハンセン	Joy Hansen (Intern)
	沖あやか	Ayaka Oki (Intern)
Sales & Marketing	田代明日香	Asuka Tashiro
	遠藤みどり	Midori Endo
	山崎庸貴	Nobuyoshi Yamazaki
Digital Marketing	クラークさと子	Satoko Clarke
Accountant	ローズ・シェン	Rose Shen

NICHIGO PRESSについて

1977年10月、豪州初の邦字新聞として発行を開始。2017年、日豪の架け橋としての功績を讃えられ、日本国政府より「外務大臣表彰」を授与される。コロナ禍において、半年間の休刊を余儀なくされたが20年10月、新運営会社「日豪プレス・メディア・グループ」の元、フルカラーの雑誌として再創刊を果たした。

Since 1977



電子版のダウンロードはこちらから ▶ nichigopress.jp

Nichigo Press Media Group Pty Ltd

広告掲載、配送に関するお問い合わせはこちらまで
(Please contact us for inquiries about advertisements and delivery)
npsales@nichigo.com.au

本誌へのご意見・ご要望はこちらまで
(If you have any requests and opinions, please contact us below)
npsyd@nichigo.com.au

郵便事情により、配達日が遅れることがございます。ご了承ください。

<おことわり>NICHIGO PRESSは、掲載記事の正確性に万全を期していますが、掲載後にデータや情報に変更の可能性があることをご了承ください。また、広告、社外寄稿者の記事に関しては、内容が必ずしも社の見解を反映したものではないことをご断りいたします。なお、掲載記事、写真、図版の無断転載を禁じます。掲載される広告内容は連邦公正取引法（1974年）及びニュー・サウス・ウェールズ州公正取引法（1987年）、著作権法（1968年）及びこれらの法律に類似する法律の規定に違反するものではないことを条件にしていますが、広告の内容や信ぴょう性に関する責任は負いかねますのでご了承ください。

編集後記

12月上旬から2月上旬までの約2カ月、日本に滞在した。12月は都内をベースに、日本人のオーストラリアへの送客を目的としたアウトバウンド関連事業者らと面会を繰り返した。12月に入るとオーストラリアはホリデーモードに入ってしまう一方、東京にいと年末までアポイントが取れるなど、意外と仕事が回せるので助かる。そして1月に入ると一転、インバウンドへと視座を転換。今号のコラムにも書いた通り、北は北海道から西は岐阜県まで、全国の20のスキーリゾートを1カ月間取材して回った。日本各地のスキーリゾートをしっかりと回ったのは、コロナ禍を挟むため、実に2019/20シーズン以来4年ぶりだ。久しぶりに各エリアを巡る中感じたのはオーストラリアのスキー、スノーボード客の客層が少しずつ変化してきているということ。オーストラリア人と言えば、バックカントリー、ツリーラン、パウダーなどコア層のイメージを持つかもしれないが、昨今カジュアルにスキーを楽しみたいファミリー層やレジャー層も多く日本を訪れ始めているなど裾野の広がりを見せ始めている。日本全国、伸び代だらけのスキー場は数多い。5月発行の『jSnow』ではその辺りもしっかりと伝えていきたい。

(馬場)

今号の巻頭でお届けした特別企画「オーストラリアにはチャンスがあふれている!輝く女性 座談会」では、久々に監修を担当した。しっかりとした軸や信念をお持ちの方々に集まって頂いたこともあり、ざっくばらんに話してもらいながらも、とても深い内容となり仕上がりに満足している。タイトなスケジュールにも関わらず終始笑顔でご対応頂き、内面も外見も美しい参加者の皆様にご協力頂いたことを大変うれしく思う。ご登場頂いた、會澤貴美代さん、フォーサイス伊織さん、佐々木絵梨さんに心から感謝申し上げます。(石井)

先日、高校時代の日本語の恩師に4年ぶりにショッピング・モールで再会した。私が日豪プレスでインターンをしていることに気付いてくれたことを知り、とてもうれしかった。今思えば、その恩師が日豪プレスの存在を授業で紹介してくれたおかげで、ますます日本語の勉強や日豪関係に興味を持ったのだ。改めて日豪プレスの影響力の大きさを実感。恩師に再会できたことで、高校時代の自信のない自分と現在日本語を使って仕事をしている自分を照らし合わせ、これからは頑張る励みとなった。

(ハンセン)

「NICHIGO PRESS」定期購読のお知らせ

NICHIGO PRESSをご自宅までお届けします!

NICHIGO PRESSはデジタルでもお楽しみ頂けますが、上質な購読体験を提供すべくページをめくる際の質感など紙質にもこだわっております。ぜひ、この機会に誌面の定期購読をご検討頂きましたら幸いです。

お申し込み方法 NICHIGO PRESS定期購読お申し込みはこちらから ▶ [Web: nichigopress.jp/subscriptions](http://Web:nichigopress.jp/subscriptions)

購読料 オーストラリア国内: 12回分\$110、6回分\$66
日本国内: 12回分\$380、6回分\$190



お問い合わせは、日豪プレスまでお気軽にどうぞ。
Email: npsales@nichigo.com.au



オーストラリアの最新ニュースを日本語で読もう!

日豪プレスが運営する、オーストラリア生活情報サイト | NICHIGO PRESS ONLINE

nichigopress.jp

日々変わりゆく豪州の「今」を「NICHIGO PRESS ONLINE」で学ぼう!
求人・住まい・マーケットのクラシファイドも好評掲載中

広告・記事掲載のご希望・お問い合わせは npsales@nichigo.com.au まで



在外選挙の制度と手続 について

在留届の提出も
忘れずに！



海外からの投票には、事前に在外選挙人名簿登録が必要です。
登録には、3か月程度かかる場合がありますので、ぜひ今手続きを！



登録・投票は 簡単です

在外選挙登録資格

- ① 満18歳以上
- ② 日本国籍保有者
- ③ 海外に3か月以上居住(出国時登録申請者を除く)

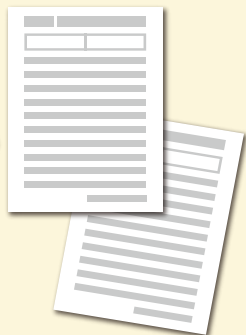
必要書類を準備し
申請書に記入、大使館、
総領事館窓口で登録申請

3か月の居住期間経過後に
大使館などから住所確認の
連絡を受ける

選挙人証の受取

用意する物

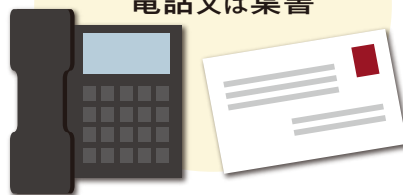
- ・旅券
- ・申請書
- ・居住している事を
証明できる書類
(在留届を提出済の方は
不要です。)



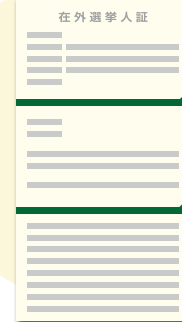
大使館



電話又は葉書



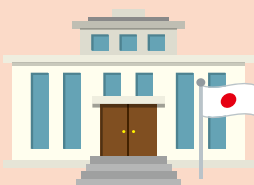
選挙人証



※選挙人証の受取までに3か月ほどかかる場合があります(申請時に3か月居住している場合のみ) ※選挙人証は郵送又は窓口での受取が選べます

在外投票は次の3つの方法から選択できます

在外公館投票



直接日本大使館・総領事館
(領事事務所)に出向いて
投票する方法。

郵便等投票



投票用紙等を事前に請求して、
記載の上、登録先の選挙管理
委員会へ郵送する方法。

日本国内で投票



一時帰国した方や、帰国直後で
転入届を提出して3か月未満の方は、
日本国内でも投票できます。

同居家族による代理申請もできます。

申請者の上記書類と署名入り在外選挙人名簿登録申請書と申出書*、代理の方の旅券を御用意ください。
※申請書と申出書は領事窓口または総務省のホームページから入手できます。

外務省

- 1 平成22年5月に憲法改正国民投票法が施行されました。在外選挙人証をお持ちの方は国民投票にも投票できます。
- 2 平成30年6月から出国時登録申請が始まりました。国外転出する際に市区町村の窓口で申請できます。
- 3 令和5年2月に最高裁判所裁判官国民審査法の一部を改正する法律が施行されました。在外選挙人証をお持ちの方は、国民審査にも投票できます。

詳しくは、**在シドニー日本国総領事館**

TEL: 02-9250-1000

Mail: cgryoji@sy.mofa.go.jp

または
外務省 在外選挙

検索 まで。



HANEDA

HANEDA AIRPORT GARDEN

一時帰国は羽田で過ごそう!

ホテル・温泉・商業エリア・イベントホール・バスターミナルが一体となった空港直結の複合施設

ホテル 温泉

ヴィラフォンテーヌ 羽田空港



泉天空の湯 羽田空港



24時間営業

※ 10:00~12:30 は清掃時間のため浴場はご利用いただけません。

レストラン



読者限定

宿泊優待プラン!

販売期間：発行日～2024年4月30日
宿泊期間：発行日～2024年9月30日

Plan 1 Grand ヴィラフォンテーヌ グランド 羽田空港

通常宿泊に温泉入浴をプラスした特別プラン

宿泊 通常価格より **10%off** + 泉天空の湯 入館無料



Plan 2 Premier ヴィラフォンテーヌ プレミア 羽田空港

フィットネスジム利用 ミニバー ルームサービス 泉天空の湯 入館無料

各施設が利用可能なワンランク上のプラン 宿泊 通常価格より **10%off**



予約方法

ご希望プランの二次元コードから公式予約ページにアクセス。ID `vfhnd_freepaper` とパスワード `villahnd` を入力し、こちらの特別価格でのプランにご予約ください。 ※予約受付数には限りがございます。予めご了承ください。

商業エリアが併設!

日本全国の銘産品を集めた専門店や、各地のグルメが楽しめるレストランなどが並んでいます。

お買い物なら



店舗数 約80店舗

バスターミナルも直結! 高速バス発着

- ▶ 長野 行き
- ▶ 三島 行き
- ▶ 蔵王 行き...etc.

運行中!



ヴィラフォンテーヌ グランド 羽田空港 ▶



ヴィラフォンテーヌ プレミア 羽田空港 ▶



泉天空の湯 羽田空港 ▶



羽田エアポートガーデン バスターミナル ▶



※掲載内容は2023年12月12日(火)時点の情報です。予告なく変更となる場合がございます。最新情報は羽田エアポートガーデン又はヴィラフォンテーヌ 羽田空港の公式サイトをご確認ください。画像はイメージです。